

基準7 学生支援等

(1) 観点ごとの分析

観点7-1-①： 学習を進める上でのガイダンスが整備され、適切に実施されているか。また、学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

学習を進める上でのガイダンスのための冊子として、「学生生活のてびき」（資料7-1-①-1）を、準学士課程入学時に配付し、また毎年度ホームルーム教室に配置している。

新入生に対しては、入学オリエンテーション及び一泊二日の合宿研修で学習を進める上でのガイダンスが実施されている（資料7-1-①-2）。さらに、前期中間試験の約3週間前には合同ホームルームで教務主事が説明している（資料7-1-①-3）。

準学士課程3，4年生に対しては、本校の教育目標及びJABEE基準に対応した科目履修が行えるよう1月下旬に選択科目ガイダンスが開催されている（資料7-1-①-4）。また、4年生に対して、4月中旬にJABEEに関する説明会を実施している（資料7-1-①-5）。

専攻科学生に対しては、「専攻科・『共生システム工学』教育プログラム履修の手引き」を、入学前の3月及び1年生の2月のオリエンテーションで配付・説明している（資料7-1-①-6）。

全教員に週あたり2回以上のオフィスアワーの設定が義務付けられており、学生玄関に一覧表が示されるとともに、各教員室の前にも明示されている（資料7-1-①-7）。また、学生が問い合わせできるように、シラバスにも担当教員のメールアドレスを明示している。

学級担任には担任マニュアルが用意されており、学業及び日常生活に関する指導方法が示されている。3年生以下では毎週のHRで種々の指導・連絡を行っている（資料7-1-①-8）。

学生相談室では、VPI職業興味検査・YG性格検査を行っており、将来の自分の仕事を検討しながら勉学できるよう支援している（資料7-1-①-9）。

授業点検書に、試験・レポート課題等の指導の件数が記録されており、授業の実態が確認できる（資料7-1-①-10）。

(分析結果とその根拠理由)

入学時や選択科目の履修登録前などにはガイダンスが整備されている。また、全教員の週2回のオフィスアワーを制度化し、自主的学習を進める上での相談・助言体制が整備されている。

低学年の学習に対する指導・助言については担任マニュアルに示されている。授業の実施状況は授業点検書から確認できる。

以上のことから、学習を進める上でのガイダンスが整備され、適切に実施されている。また、学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制は整備され、機能している。

「学生生活のてびき」における学習関係の案内

1. 本校の教育目的及び学習・教育目標	1
(1) 教育目的	1
(2) 学習・教育目標	1
.....	
3. 授業・試験等	11
(1) シラバス（授業計画）の利用	11
.....	
(10) 卒業	13
11. 専攻科に関する特別の事項	49
(1) 専攻科の修了要件	49
.....	
(6) 成績の順位	51
12. 「共生システム工学」教育プログラム	52
(1) 「共生システム工学」教育プログラムとは	52
(2) 養成する技術者像	52
(3) 学習・教育目標	53
.....	
18. 主な規則	67
(1) 学則	67
第5章 教育課程及び履修方法等	68
.....	
第9章 専攻科（教育課程）第52条	72
(3) 履修規程	79
(4) 専攻科履修規程	87
.....	
(7) 「共生システム工学」教育プログラム履修規程	95

(出典 平成23年度 学生生活のてびき)

新入生への教務オリエンテーション

入学オリエンテーション（入学前3月中旬）

明石高専の教育方針・教育目的・学習教育目標に関してそれぞれ説明を行っている。

一泊二日の合宿研修（4月中旬）

研修プログラムにカリキュラムの構成等を説明する時間を盛り込み、担任・専門学科教員が教科内容の説明に当たっている。

(出典 平成23年度新入生への配付資料)

資料 7-1-①-3

教務主事の話

- 教育目的： 1. 健康な心身と豊かな人間性 2. 柔軟な問題解決能力
3. 実践的な技術力 4. 豊かな国際性と指導力

成績等に関する注意事項

H23.5.09(月) 1年生合同HR資料

1. 成績評価

- ①評価材料：定期試験（前期中間、前期期末、後期中間、後期期末）の成績、出席状況、レポート、課題作品、平常の試験、学習状態などを総合して評価されるが、その配分は担当教員によって異なり、シラバスに記載されている。
- ②総合評価：例えば、後期中間試験後の成績表に出ている成績は、後期中間試験の成績だけではなく、学年始めからそこまでの総合評価となっている。
- ③欠席限度：教科によって異なる。例えば、体育は1/5、英語は1/4等々。これもシラバスに記載されている。（ほとんどの教科は1/3）

2. 進級基準

- ①各教科の合格点は60点であり、全教科合格点の場合は問題なく進級。
- ②全科目の平均点が65点以上ある人は、50点台の科目が累積で4科目9単位以内なら進級できる。（注）
- ③学年末の成績で課程修了に必要な科目に1科目でも50点未満があると進級できない。
- ④特別教育活動、指定された（出席をとる）学校行事の出席が悪いと進級できない。
- （注）1年生の学年末には累積の不合格科目は存在しない。もし1年生から2年生に上がる時に4科目9単位の50点台科目を抱えて進級したとする。その人は2年生で「補充履修」を受けて合格した科目は60点（単位修得）となる。4科目全部合格すれば、2年生の学年末には、新たな50点台科目が4科目9単位以内なら進級できる。もし過年度の50点台科目を残すと、学年末に50点台となった科目数単位数に算入される。累積4科目9単位というのはそういう意味である。卒業には合計167単位以上の修得が必要。

3. 実技科目

- ①提出期限：製図や実験・実習等の実技科目では製図やレポート等の提出物が成績評価の上で大きな比重を占めるが、この場合提出期限を遅れると減点されたり、受け取ってもらえないことがあるので、期限を守ることが大切である。
- ②出席：実技科目では講義科目以上に出席が重要視されるのが一般的で、欠席した場合には再実験等を義務付けられることが多い。欠席しないことが大切。

4. 定期試験

- ①定期試験での不正行為は、その期間中の試験の成績は全科目0点とされた上に停学処分となる。
- ②不正行為とは、例えばカンニングペーパーをポケットなど身に付けていたり机の中に入れていた場合、机その他に書き込みをしていた場合等には、見た見ないにかかわらず不正行為とみなされる。
- ③遅刻は15分を超えると受験できない。交通機関延着（証明書必要）の場合は30分以内。
- ④試験開始後30分間は退室できない。

(出典 平成23年度教務主事の話 配付資料)

資料 7-1-①-4

学科3, 4年生への選択科目ガイダンス

選択制実施のねらいは、学生各人にとって関心の深い教科の勉強をすることによって、より豊かな教養とより高度な専門知識を身につけ、めざましい技術革新に対応できる能力を養うことにあります。単に与えられた知識を身につけるという受身の勉強だけでは得られない創意、工夫する自主的能力と深い洞察力を育成できるようにしたいという願いをこめてあります。

具体的な内容は以下のページに記載されていますが、趣旨と内容を十分理解して選択受講し、学生諸君の熱意をこめた努力により最大限の成果を挙げることを期待します。

(出典 平成22年度3, 4年生への配付資料)

資料 7-1-①-5

4 年生への JABEE に関する説明会の実施

・ 4 年生への JABEE 説明会（専攻科長が運営会議等のため、加藤委員が説明。説明用資料は作成済み。）

日時：4/20（水） E・A・C 科 階段教室 14：40～

M 科 HR 教室 15：30～（材料学の授業があるが、境田先生の了解済み。）

配布資料：「共生システム工学」履修の手引

意識調査アンケート用紙（学生の説明内容の理解確認が目的 富永委員が集計する。）

学生への連絡：案内の掲示（教務係）、担任へ連絡（専攻科長）

意識調査アンケート実施：学生の説明内容の理解確認が目的。富永委員が集計する。

（出典 平成 23 年 4 月 4 日 専攻科・JABEE 委員会議事録）

資料 7-1-①-6

「専攻科・『共生システム工学』教育プログラム履修の手引き」

目次

- I. 平成 22 年度専攻科学年歴
- II. 専攻科の科目履修
 1. 専攻科の履修要件
 2. 専攻科特別研究
 3. 専攻科特別実習
 4. 他の専攻科で開講している科目の修得
 5. 他の教育機関で修得した単位・成績の順位

〈参考資料〉

- (1) 専攻科履修規程
- (2) 教育課程表
- (3) 専攻科特別研究の記録
- (4) 研究論文の表紙
- (5) 研究年報に関する申し合わせ
- (6) 研究年報の投稿の手引き
- (7) レイアウト
- (8) 専攻科特別研究の評価の申し合わせ
- (9) 専攻科特別実習実施要項
- (10) 専攻科特別実習関係様式（証明書・報告書・日誌・学んだこと及び感想）
- (11) 専攻科特別実習の評価方法の申し合わせ
- (12) 放送大学科目の履修について
- (13) 神戸大学工学部・理学部の授業科目の履修について
- (14) 長岡技術科学大学の web 講義の履修について
- (15) 他大学履修科目の単位認定関連の書類について（履修願・単位認定申請書・学習記録）
- (16) 専攻科成績の順位について

資料 7-1-①-6 (続き)

Ⅲ. 「共生システム工学」教育プログラム (PDF 形式)

1. 「共生システム工学」教育プログラムとは
2. 養成する技術者像
3. 学習・教育目標
4. 科目構成

5. 履修対象者
 - 5.1 専攻科入学試験
 - 5.2 専攻科入学前の学習履歴
 - 5.3 学習履歴の確認方法
 - 5.4 学習履歴が不足する場合の取り扱い
6. 単位の認定
 - 6.1 「共生システム工学」教育プログラムの単位の認定
 - 6.2 他の高等教育機関で修得した単位の認定
7. 修了要件

(出典 平成 22 年度 専攻科生への配付資料)

平成23年度前期 オフィスアワーガイドマップ

科	部屋	教員名	勉学相談	よろず懇談	クラブ指導	オフィスアワー		メール @akashi.ac.jp
						曜日	時間帯	
M	M3	國峰 寛司	機械工学全般	進路相談など	少林寺拳法部	木 金	16:20~17:00 14:40~17:00	kunimine
M	M3	境田 彰芳	材料強度	進路	野球部	火 木	14:40~17:00 16:20~17:00	sakaida
M	M3	森下 智博	材料力学 TeX, PostScript	灘のけんか祭り	ものづくり研究会 ラグビー部	火 水	14:40~17:00 16:20~17:00	morisita
M	M3	池田 光優	熱力学, 機構学 熱機関, 燃焼工学	進路相談以外全般	ハンドボール部	水 金	14:40~17:00 16:20~17:00	ikedata
M	専2	岩野 優樹	ロボット関係	映画, 料理, 進路相談	ロボット工学研究部 テニス部	火 水	16:20~17:00 14:40~17:00	iwano
M	M3	加藤 隆弘	機械工作, 工作実習 摩擦・摩耗	何でもOKです.	サッカー部	火 木	14:40~17:00 14:40~17:00	katoh
M	M3	関森 大介	機械工学全般 情報処理	進路相談など	ロボット工学研究部 柔道部	火 金	14:40~17:00 16:20~17:00	sekimori
M	M3	松下 通紀	応用数学	京都事情	女子バレーボール部 合唱団 Fons Musice	木 金	14:40~17:00 16:20~17:00	matusita
M	M3	藤原 誠之	物理学 熱流体工学	軽音楽関係 魚釣り関係	野球部 音楽部 ジャグリング同好会	水 金	14:40~17:00 16:20~17:00	s-fuji
M	M3	大森 茂俊	機械加工, 精密加工 3D-CAD/CAM	自動車, バイク関係	柔道部 ロボット工学研究部	月 火	14:40~17:00 16:20~17:00	ohmori
M	M3	史 鳳輝	設計製図, 設計工学 最適化, CAD	写真, 旅行, 中国語	卓球部	火 木	16:20~17:00 14:40~17:00	shi
M	M3	田中 誠一	流体力学, 熱力学	進路, 自動車, バイク, その他/何でも	陸上競技部 web製作研究会	火 木	14:40~17:00 16:20~17:00	s-tanaka
M	M3	本村 士郎	機械設計, 自動化計画, CAD	企業の技術者, ハイキング	水泳部	火 木	16:20~17:00 14:40~17:00	honmura
E	E3	大向 雅人	講義内容について	人格と人間関係について	陸上競技部 吹奏楽部	火 月	16:20~17:00 14:40~17:00	ohmukai
E	E3	堤 保雄	半導体, 光デバイス他 担当講義内容全般	進路関係他 特に指定しない	ソフトテニス部 茶道部	火 木	14:40~17:00 16:20~17:00	tsutsumi
E	専4	中井 優一	情報理論, 画像圧縮 Linux, CG, LaTeX	クライミング, バラグライダー オーストラリア事情	クライミング部 情報工学研究部	火 木	16:20~17:00 14:40~17:00	ynakai
E	E3	濱田 幸弘	データ構造とアルゴリズム 離散数学, C言語	サッカー, 自動車, 音楽	情報工学研究部 水泳部	水 木	14:40~17:00 16:20~17:00	hamada
E	E3	藤野 達士	電気回路等	進路相談, MacOS (何でも可)	陸上競技部	木 金	16:20~17:00 14:40~17:00	fujino
E	E3	堀 桂太郎	デジタル回路 マイクロコンピュータ	電気系資格 電子工作	剣道部 ロボット工学研究部	木 金	14:40~17:00 16:20~17:00	hori
E	E3	上 泰	制御理論 最適化理論	何でも気軽に 話に来てください	陸上競技部	水 金	14:40~17:00 16:20~17:00	kami
E	E3	佐村 敏治	ネットワーク 情報セキュリティ	情報関係資格 食べ歩き	サッカー部	金 月	14:40~17:00 16:20~17:00	samura
E	E3	細川 篤	電気回路, 電気計測 超音波	何でも可	男子バレーボール部	月 水	14:40~17:00 16:20~17:00	hosokawa
E	E3	成枝 秀介	デジタル信号処理全般 通信全般, 電子回路	何でも可	テニス部 視覚メディア研究部	水 金	16:20~17:00 14:40~17:00	narieda
E	E3	新井イスマイル	情報工学全般 サーバ, ネットワーク, Linux	進路相談, 対外活動相談 イスラム教について	バドミントン部 情報工学研究部	木 金	14:40~17:00 16:20~17:00	ismail
E	E3	廣田 敦志	エネルギー問題	エネルギー問題	シネマ倶楽部同好会 バドミントン部	火 金	16:20~17:00 14:40~17:00	ahirota
C	C3	大橋健一	都市計画, 交通計画 コンピュータプログラミング	進路相談 スキー, 和庭園	野球部 吹奏楽部	水 金	14:40~17:00 14:40~17:00	ohashi
C	C3	神田 佳一	河川工学, 水理学 防災工学, 情報処理	囲碁, 将棋 進路相談	ハンドボール部 棋道同好会	火 金	14:40~17:10 14:40~17:10	kanda
C	C3	檀 和秀	水理学, 海岸工学他	なんでも可	バスケットボール部	月 火	14:40~17:00 16:20~17:00	dan
C	C3	友久 誠司	施工関係 地盤環境	進路相談	ソフトテニス部	月 火	14:40~17:00 16:20~17:00	tomohisa
C	C3	石丸 和宏	プログラミング 構造力学	何でも可 (特にゴルフ, 車, テレビ)	野球部	火 水	16:20~17:00 14:40~17:00	ishimaru

資料7-1-①-7 (続き)

平成23年度前期 オフィスアワーガイドマップ

C	専2	江口 忠臣	測量全般, 施工システム 初歩の技術英語, 論文作成	腰痛, 月探査, バレー 進路, その他何でも	男子バレーボール部 女子バレーボール部	火 月	14:40~17:00 16:20~17:00	eguchi
C	C3	越智 内士	鋼構造学 橋梁工学 耐震・免震構造	ブリッジコンテスト 勉強 進路	空手道 ロボット工学研究部 少林寺拳法部	月 水	14:40~17:00 16:20~17:00	ochi
C	C3	鍋島 康之	地盤工学, 防災工学 工学実験, 工業英語	就職・進路 海外留学・海外旅行	サッカー部	水 木	14:40~17:00 16:20~17:00	nabesima
C	C2	渡部 守義	水域環境, 水質汚濁 水域生態系, 環境問題	お魚の鑑賞と釣り	ラグビー部	月 火	16:20~17:00 14:40~17:00	mwata
C	C3	石内鉄平	都市・地域計画 景観工学・測量学	何でもどうぞ	女子バレーボール部	月 火	14:40~17:00 16:20~17:00	ishiuchi
C	C3	武田 字浦	建設材料 コンクリート構造	楽器演奏, 料理 その他なんでもどうぞ	バドミントン部	月 金	14:40~17:00 14:40~17:00	takeda
A	A3	大塚 毅彦	まちづくり ユニバーサルデザイン	英国留学 人生相談など	サッカー部	火 金	16:20~17:00 14:40~17:00	otsuka
A	A3	坂戸 省三	建築計画, 建築設計 空間論	何でも気楽に	バスケットボール部	水 金	14:40~17:00 16:20~17:00	sakato
A	A3	田坂 誠一	建築構造学	何なりと	吹奏楽部 男子バレーボール部	金 月	14:40~17:00 16:20~17:00	tasaka
A	A3	八木 雅夫	まちづくり, 都市計画, 景観計画, 建築意匠	進路, 将来計画, 旅行の計画	卓球部 茶道部	月 金	16:20~17:00 14:40~17:00	yagi
A	専2	工藤 和美	建築設計, CAD/CGデザイン まちづくり, 文化的景観, ため池	Mac, 阪神タイガース ドイツ語, 人生相談など	フットサル同好会 環境デザイン研究会 クラミング部	月 水	14:40~17:00 16:20~17:00	kkudoh
A	A3	中川 肇	建築構造, 耐震・防災工学 プログラミング	キャリア支援教育 剣道, お料理	剣道部 音楽部	月 水	14:40~17:00 16:20~17:00	h-naka
A	専4	平石年弘	環境工学	ロッククライミング 自給自足	クラミング部 ハーマカルチャー研究会	火 金	14:40~17:00 14:40~17:00	hiraishi
A	A3	荘所 直哉	建築構造全般 木質構造	進路(特に大学編入学) 暇があればどうぞ	ハンドボール部	火 水	14:40~17:00 16:20~17:00	shojo
A	A3	東野アドリアナ	建築史, 建築意匠, デザイン, CAD	英+仏+ポルトガル+スペイン語, 海外暮らし, ラテン系音楽と文化	女子バレーボール部 茶道部	水 木	14:40~17:00 16:20~17:00	adriana
A	A3	角野 嘉則	セメント・コンクリート	何でもどうぞ	音楽部 男子バレーボール部	火 水	16:20~17:00 14:40~17:00	kakuno
A	A3	水島 あかね	建築計画, 都市史 まちづくり, デザイン	なんでもどうぞ	ハーマカルチャー研究会 女子バレーボール部	月 水	14:40~17:00 16:20~17:00	akane
G	G2東	善塔 正志	国語・国語表現 日本文学	ブックガイド 雑学	体操部	火 金	14:40~17:00 16:20~17:00	zentoh
G	G2東	仁木 夏実	国語(現代文・古典) 中国古典, 文章指導	読書案内	ハンドボール部 棋道同好会	月 金	14:40~17:00 16:20~17:00	niki
G	G2東	石田 祐	政治経済, 地理, 経済学, 経済地理学	NPO, テニス ほか何でもどうぞ	テニス部 女子バスケットボール同好会	月 金	14:40~17:00 16:20~17:00	y-ishida
G	G2東	本間 哲也	日本史, 世界史 日本産業史	音楽(演奏), スペイン及び ドイツ事情, 他にも	バスケットボール部 写真部 合唱団 Fons Music	月 水	14:40~17:00 16:20~17:00	homma
G	G2東	高田 功	数学	何でも	吹奏楽部 バドミントン部	月 金	14:40~17:00 16:20~17:00	takata
G	G2東	面田 康裕	数学	供述心理学	演劇研究会 水泳部	火 木	14:40~17:00 16:20~17:00	omoda
G	G2東	高野 啓児	数学(表現論, 整数論)	80~90年代英国インディーギターバンド アロマテラピー, 輸入菓子	吹奏楽部 卓球部	水 木	16:20~17:00 14:40~17:00	takano
G	G2東	松宮 篤	微積分I, 微積分II	何か相談があるなら とりあえず来て下さい。	剣道部	月 水	14:40~17:00 16:20~17:00	matumiya
G	G2中	山形紗恵子	数学	映画, 音楽	少林寺拳法部	火 金	14:40~17:00 16:20~17:00	yamagata
G	G3東	小笠原 弘道	数学・物理	何でも	バスケットボール部 棋道同好会	火 木	16:20~17:00 14:40~17:00	ogasawar
G	G2中北	武内 将洋	物理	何でも	テニス部	火 金	14:40~17:00 16:20~17:00	takeuchi
G	G1中北	倉光 利江	化学系	何でも結構です	卓球部	火 木	14:40~17:00 16:20~17:00	kuramitu
G	体1	松下 幸一	保健体育	スポーツ傷害 トレーニング一般	柔道部	月 火	16:20~17:00 14:40~17:00	koichi
G	体1	後藤 太之	保健体育	野球, 運動クラブ関係 旅行, 音楽	野球部	月 金	14:40~17:00 16:20~17:00	tgotoh
G	G3東	前原 澄子	英語学習全般	イギリスの文化・文学 合唱音楽	合唱団 Fons Music イングリッシュガーデン同好会 陸上競技部	火 木	14:40~17:00 14:40~17:00	maehara
G	G3東	松田 安隆	英語	写真 進路	写真部 ソフトテニス部 Web製作研究会	水 木	14:40~17:00 16:20~17:00	matsuda
G	G3東	穂本 浩美	英語学習全般 英語圏留学	就職進学面接対策 読書	ESS ハンドボール部	火 水	14:40~17:00 16:20~17:00	akimoto
G	G3東	井上 英俊	英語 英語資格取得	何でも	ソフトテニス部	火 木	16:20~17:00 14:40~17:00	hinoue
G	G2東	富永 和元	英語全般	アメリカの文学, 自動車, 音楽, 格闘技	ラグビー部 視覚メディア研究部	月 火	14:40~17:00 16:20~17:00	tominaga

(出典 学生課作成資料)

資料 7 - 1 - ① - 8

担任によるガイダンス・助言

3 学習指導

3-1 学生の成績履歴

前担任との引継ぎ、学生の成績把握

3-2 日常の学習指導

HR での指導、個別指導、教科担当教員との連携、履修単位確認の指導、選択科目の履修、授業アンケート

3-3 定期試験時の指導

定期試験前の指導、定期試験期間中、定期試験後の指導

3-4 進路指導

進路決定の指導、就職指導、進学指導、退学、転学、転科

(出典 担任マニュアル P. 5～7)

資料 7 - 1 - ① - 9

学生相談室：VPI 職業興味検査・YG 性格検査

○VPI職業興味検査・YG性格検査○

学生相談室では、VPI職業興味検査やYG性格検査を随時行っています。

専門のカウンセラーが相談に応じます。

どんな仕事に向いているのかよくわからない・・・。

自分のことをもっとよく知りたい・・・。

こんな人は、大歓迎です。

(出典 本校ホームページ 学生相談室 <http://www.akashi.ac.jp/contents/Soudan/soudan.html>)

資料7-1-①-10

試験・レポート課題等の指導の件数

4年生以上で試験・レポート課題等の指導を行った科目数は、全学科合計で341科目ある。

平成21年度 試験・レポート課題の返却状況

学科名	回答科目数	試験・レポート課題等を行った科目数			試験・レポート課題の件数	平均返却率(%)
		定期試験	レポート	その他		
一般科目	81	72	49	56	1242	96
機械工学科	47	33	35	12	395	95
電気情報工学科	120	41	57	27	382	86
都市システム工学科	37	24	32	10	251	95
建築学科	56	30	50	14	287	93
全学科	341	200	223	119	2557	93

(出典 平成21年度授業点検書の集計結果)

観点7-1-②： 自主的学習環境及び厚生施設、コミュニケーションスペース等のキャンパス生活環境等が整備され、効果的に利用されているか。

(観点に係る状況)

本校の主な自主的学習環境として、図書館、情報処理教育センター、実習工場等がある。

図書館の利用については、「学生生活のてびき」及び本校ホームページで案内されている(資料7-1-②-1)。約100席の閲覧スペースと48席のAV室を有し、学生の主要な自習スペースとなっている。また、パソコンを11台備えて図書や情報の検索を容易にするとともに、TOEIC学習専用の端末も8台設置している。夜間及び土曜日にも開館しており、多くの学生が積極的に利用している(資料7-1-②-2)。

情報センターについては、「学生生活のてびき」及び本校ホームページで案内されている(資料7-1-②-3)。各1クラス収容の演習室2室及び自習室(パソコン10台)、準備室(同5台)があり、学生が自由に利用できる。夜間及び休日にも開館しており、利用者数も多い(資料7-1-②-4)。

実習工場では、機械工学科以外の学生を対象とした「実習工場利用ガイダンス」を実施するなど、利用推進に努めている(資料7-1-②-5)。各種の設備(資料7-1-②-6)を備えており、卒業研究やロボコン参加チーム等に利用されている(資料7-1-②-7)。

各学科には実験室、演習室が整備されており、学生は自由に卒業研究などに使用できる。また、共用可能な共通ゼミ室や卒研室等は申し出により自由に利用できる空間となっている(資料7-1-②-8)。

校舎、情報センター、一部の実験室等は指紋認証システムにより、時間外及び休日の利用が可能となっている。

厚生施設として福利施設があり、1階は学生食堂・ラウンジとして利用され、2階の和室・研修室等は、茶道部、棋道部、吹奏楽部、ものづくり研究会等の課外活動に使用されている(資料7-1-②-9~12)。学生食堂は、営業時間外には自習室として使用できる。

一般管理棟の2・3階に設けたコミュニケーションスペース、階段教室の南側の東屋、パラソル・テーブル・椅子が整えられ、ビオトープとして学生が整備した池のある中庭休憩スペース、機械建築棟北側のスペース等が整備され、休憩時間には多くの学生に利用されている(資料7-1-②-13)。

(分析結果とその根拠理由)

図書館、情報センター、実習工場、実験室、共通ゼミ室、卒研室、学生食堂の自習室等の自主的学習のための環境が整備され、有効に活用されている。

また、指紋認証システムの導入により、夜間及び休日の有効利用を拡大させている。アメニティ向上のため、コミュニケーションスペースをはじめ学生食堂を活用した自習室など、キャンパスの生活環境も整備されている。

以上のことから、自主的学習環境及び福利厚生施設、キャンパスの生活環境等は整備され、効果的に利用されている。

図書館の利用 - 1

平成 23 年度 「学生生活のてびき」 目次より抜粋

8. 図書館 33

(1) 利用時間等 33

(2) 利用証 33

(3) マナー 33

(4) 図書の探し方 33

(5) 視聴覚資料の利用 33

(6) 貸出冊数・期間 33

(7) 図書等購入希望 33

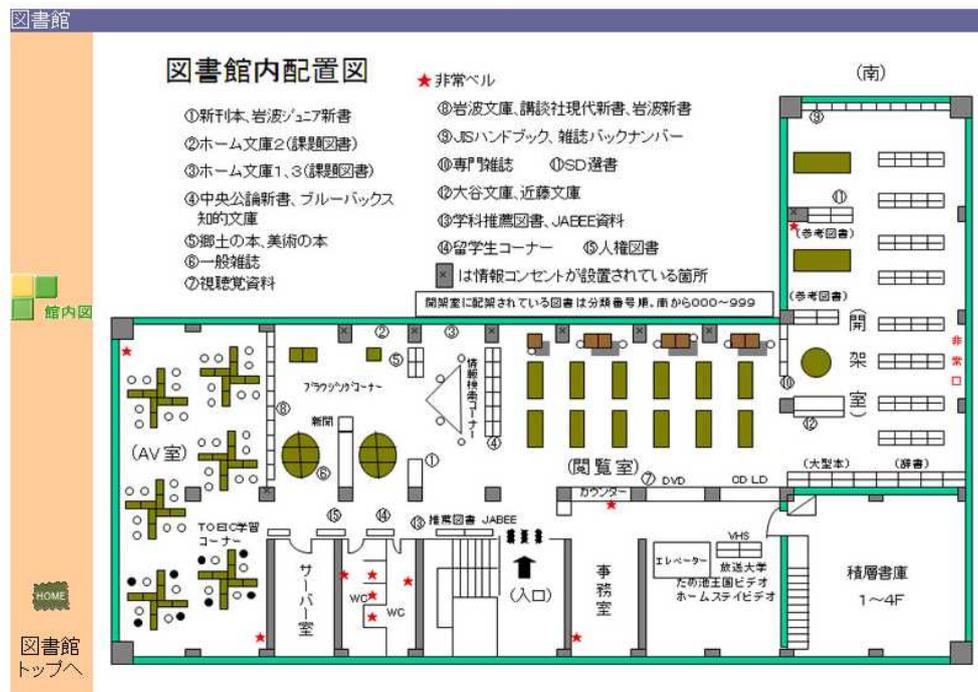
(8) 図書館内配置図 34

(出典 平成23年度 学生生活のてびき)

図書館の利用 - 2

開館時間及び休館日

開館時間		休館日
月～金	8:30～20:00	日曜、祝日
土	10:00～16:30	春、夏休み期間中の土曜
春、夏、冬休み期間	8:30～17:00	12/28～1/4



(出典 本校ホームページ)

資料 7-1-②-2

図書館利用状況（平成18年～平成22年度）

項 目 / 年 度		18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	
年 間	入館者数	時間内	39,850	39,449	35,768	36,114	38,734
		時間外	11,116	8,681	8,955	8,318	7,132
		計	50,966	48,130	44,723	44,432	45,866
	AV ルーム	計	3,272	3,720	2,839	2,042	2,358
	貸出者数	計	3,670	3,557	3,382	4,185	4,103
	貸出冊数	計	7,188	6,876	6,683	7,754	7,666
	開館日数	年 間	294	295	291	283	292
一 日	入館者数(時間内)	163	160	147	152	162	月～金曜
平 均	入館者数(時間外)	46	36	38	36	30	月～土曜
	AV ルーム	11	13	10	7	8	
	貸出者数	12	12	12	15	14	
	貸出冊数	24	23	23	27	26	

(開館時間) 授業期間中 時間内：平 日 8：30～17：00
 時間外：平 日 17：00～20：00
 土曜日 10：00～16：30
 休業期間中 時間内：平 日 8：30～17：00

(出典 図書館利用者数調べ)

資料 7-1-②-3

情報センターの利用

7. 情報センター	33
(1) 利用時間等	33
開館時間中は、授業に使用している場合を除いて自由に利用できます。	
■授業期間中	
演習室 1、演習室 2 及び自習室	月曜日～金曜日 9：00～19：45 土曜日 10：00～16：15
準備室	どの曜日も 7：00～20：00
■休業期間中	
演習室 1、演習室 2 及び自習室	月曜日～金曜日 9：00～16：45
準備室	どの曜日も 7：00～20：00
(2) 休 館 日	33
(3) ネットワーク利用	33
(4) マ ナ ー	33

(出典 平成23年度 学生生活のてびき P.33)

資料 7-1-②-3 (続き)

情報センターの利用 (続き)

自習に使用できるソフト

Windows は Windows Vista Business Edition をベースとしたシステムで、さらに以下のようなソフトを追加しています。（*は演習室 2 と異なるもの）

★ 名称 ★	★ 説明 ★
rkTTT	タイピングソフト
Firefox	ブラウザ
Sylpheed	メールソフト
Microsoft Office 2007 Standard(Word,Excel,PowerPoint,Outlook)	ワープロ,表計算,プレゼン, メール
Symantec AntiVirus	コンピュータウイルス防御 ソフト
Adobe Acrobat*	PDF 文書作成ソフト
Adobe Reader	PDF 文書閲覧ソフト
VMware Player	仮想マシン構築ソフト
QuickTime	マルチメディアプレーヤ
JW-CAD	CAD ソフト
POV-Ray	レイ・トレーシングソフト
Gimp	ビットマップ画像編集ソフト
Inkscape	ベクトル画像編集ソフト
OpenOffice.org	オフィススイート
Graph-R	等高線などを作成するソフト
Google SketchUP 6	3D モデル作成ソフト
GRAPES 6.71	関数グラフ描画ソフト
3D-GRAPES 1.41B	3次元関数グラフ描画ソフト
PuTTYjp 0.60	SSH, telnet 用ソフト

(出典 本校ホームページ 情報センター センター施設の紹介)

資料 7-1-②-3 (続き)

情報センターの利用 (続き)

Linux 上のアプリケーション

Linux は Ubuntu 8.10 をベースとしたシステムで、さらに以下のようなソフトを追加しています。

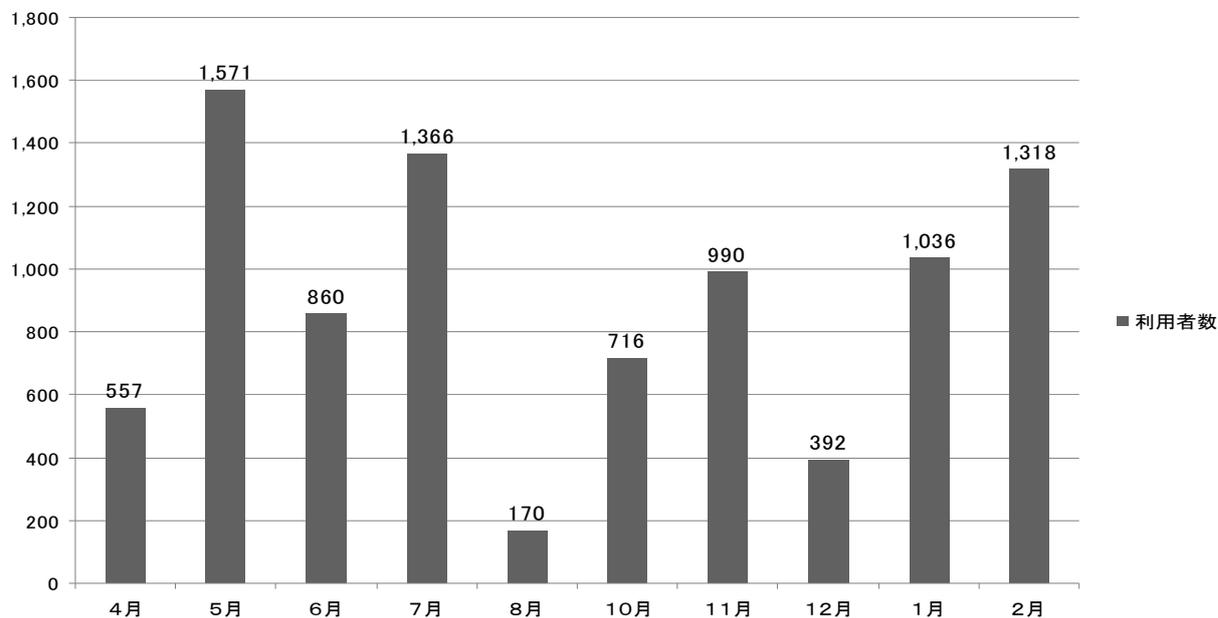
★ 名称 ★	★ 説明 ★
C 言語, FORTRAN コンパイラ	コンパイラ
POV-Ray	レイトレーシングソフト
fepov	POV-Ray のフロントエンド
emacs	テキストエディタ
Bluefish	HTML エディタ
u2ps	テキストファイル印刷ソフト
LaTeX	組版システム
OpenOffice.org	オフィススイート
Tgif	図形描画ソフト
Gnuplot	グラフ描画ソフト
Gimp	ビットマップ画像編集ソフト
MagicPoint	プレゼンテーションソフト
Adobe Reader	PDF 文書閲覧ソフト
Thunderbird, Sylpheed	メールソフト
Typist, trr	タイピング練習ソフト
Firefox	ブラウザ
VMware Player	仮想マシン構築ソフト
Eclipse	統合開発環境
Java 2 SDK	Java コンパイラ・Java 仮想マシン
Network Simulator 2	ネットワークシミュレータ
MPI-2	メッセージパッシングインターフェース
R	統計解析ソフト
Weka	データマイニングソフト
Scilab 4.1.2	数値計算ソフト
Jamox normal 0.9.5	制御系モデリングツール

(出典 本校ホームページ 情報センター センター施設の紹介)

資料7-1-②-4

平成22年度情報センター月別時間外利用者数

利用者数



(出典 情報センター 延長時間滞在者数調べ)

資料7-1-②-5

実習工場の利用案内

実習工場利用ガイダンスは、軽作業（グラインダ、卓上ボール盤、糸鋸盤）等の機器利用方法をはじめ、技術相談、加工相談等、作業の安全に関する説明を行う。卒業研究、クラブ活動、ロボコン活動等での利用予定学生と教職員を対象としている。

実習工場安全心得

技術教育支援センター長

本校の共用設備である実習工場においても、いろいろな設備や工具があり、本校の関係者であれば誰でもが使用できるものですが、しかし、これらは使用方法を誤れば、生命も失うことにもなりかねない凶器に変わることがあります。基本的には『自分の体は自分で守る』ことですが、その使用するにあたり、使用する人の『安全』を確保するために次のようなルールがあり、最低限のルールです。気持ちよい本校の生活を送れるように、各自が自分のために必ず守るように心掛けてください。

資料 7-1-②-5 (続き)

1. 設備使用にあたって

- ①. 実習工場の設備及び工具を使用する場合は、必ず『実習工場担当者』の許可を得て、使用すること。
(届出がない場合などにおける傷害事故や災害などは、個人の責任となります)
- ②. 実習工場内では、工場担当者の指示・指導を必ず守ること。
- ③. 工場内では、『安全を最優先』とし、自分の行動に自覚と責任を持って行動すること。
- ④. 実習工場には必ず2名以上とどまるか、指導担当教職員がとどまり、一人での利用は禁止する。
- ⑤. 所定時間外及び休日利用する場合には、担当指導教職員の許可の許可を得て、必要に応じて学生係に手続きを行なうこと。

2. 服 装

- ①. 巻きこまれ事故防止のために、袖口・足元・腰まわりがだぶつかず行動しやすいものとする。
(腕や足が露出しない身軽に作業ができる服装で、できれば上着は実習服の着用が望ましい)
- ②. 服のボタン・ファスナーは掛けはずれがないこと。
- ③. 半ズボン禁止。
- ④. 安全確保のために、必ず靴を履き、素足・下駄・つっかけ・草履・サンダルなどの履物では工場内は『立ち入り禁止』とする。
- ⑤. 靴の紐は確実に結び、腰・首などにアクセサリなどぶら下げたりしないこと。
- ⑥. 機械操作は、手袋の使用は禁止する。ただし、溶接など指示または許可があった場合は除く。
- ⑦. 指示された保護具は必ず確実に着用すること。

3. 使 用 中

- ①. 実習授業時以外に利用する場合は、許可書を必ず携帯すること。
- ②. 安全第一を最優先とし、作業場の周辺の整理・整頓・清掃に勤めること。
- ③. 使用前に既に取付けてあるバイスタ、工具などが確実に固定されているか確認すること。
- ④. 工場内では、ポケットに手を入れたり、走ってはいけない。
- ⑤. 設備や工具は大切に使用し、無断で装置の変更や変形などは行なわないこと。
- ⑥. 機械や各種設備などの使用は、基本を守り正しく使用すること。
- ⑦. 使用中に異常が起きた場合、また、不審に感じた場合は、直ちに連絡して指示を受けること。
- ⑧. 切削中は機械から離れないこと。
- ⑨. 工具の取り替え、計測、切り屑の処理は、回転が確実に停止してから行なうこと。
- ⑩. 工具、測定具、道具などはテーブル上に置かないで、常に整理整頓に心掛けること。
- ⑪. 作業している人以外、加工中の機械周辺に近寄らないこと。

4. そ の 他

- ①. 二人以上で作業する場合は、お互いに声を出して合図を確実に行なうこと。
- ②. スイッチを入れる場合は、必ず『右手』で操作すること。
- ③. 使用後の設備及び工具などは、清掃し、使用前のところに返却格納すること。
- ④. 電気・ガスなどの取扱いは特に注意して行なうこと
- ⑤. 作業中に、もし負傷した場合は、傷の程度にかかわらず実習工場教職員に連絡し、処置を待つこと。

資料7-1-②-5 (続き)

- ⑥. 切り屑は早めに処理し、所定の容器に入れること。
- ⑦. 作業中にむやみに話し掛けないこと。
- ⑧. 計測器や工具は丁寧に取扱い、異常を感じた場合は直ちに連絡し、処置を受けること。
- ⑨. ハンドルやスパナなど回転物に取付けたまま機械から離れないこと。
- ⑩. 加工方法や機械操作が分からない場合は、実習工場教職員に説明を受けること。

技術教育支援センター長

(出典：平成22年度 技術教育支援センター配付資料)

資料7-1-②-6

実習工場の設備状況

NO	機械名	形式	導入年月日
1	CNC旋盤	日立精機NR-18	1992. 03. 25
2	汎用旋盤 (8台)	ワシノLR-55A	2009. 03. 30
3	汎用旋盤	タキサフTAL510	2010. 3. 30
4	汎用旋盤	大隈鉄工LS	1988. 03. 29
5	溶接ロボット	DAIDEN-FANUC, ARCMATE	1990. 03. 31
6	プラズマ切断機	大阪電気AR-SC61P	1990. 03. 31
7	CO2ガス溶接機	大阪電気AUTOTAC350U	1990. 03. 31
8	アーク溶接機 (7台)	大阪変圧器KR-300	1988. 10.
9	TIG溶接機	日立製作所ARC-PAIR300ST	1979. 01. 09
10	自動ガス切断機	小池酸素IKWEASEL	1989. 9.
11	CO2ガス溶接機	大阪変圧器300S	1971. 06. 16
12	ワイヤ放電加工機	ブラザー工業HS-300ファナックROBOCUT α 1iD	1991. 03. 26
13	平面研削盤	岡本PSG63DX	2010. 3. 30
14	マシニング センタ (2台)	日立精機VM-40森精機DuraVertical5060	1987. 09. 30
15	NCフライス盤 (2台)	静岡鉄工VHR-ANイワシタNV2	2006. 03. 20
16	直立ボール盤 (2台)	吉田鉄工YUD-540	1988. 03. 16
17	卓上ボール盤 (2台)	日立製作所B330-2	1988. 06. 07
18	立フライス盤	静岡鉄工	2006. 03. 20
19	油圧帯鋸盤	KOIDE NT200	2009. 3. 30
20	高速砥石切断機	昭和機械 SK-3S	2009. 3. 30
21	コンターマシン(2台)	日本工機ラクソー300ワイエス工機Cz-600 II	1968. 11. 20
22	円筒研削盤	TOYODA G32	2010. 3. 30

(出典 自己点検・評価報告書 平成23年3月)

資料7-1-②-7

実習工場利用状況（平成18～22年度）

年度	実習・実験	ロボコン	高専祭	卒業研究	その他	Total
H18	303	320	50	100	200	973
H19	303	395	50	250	200	1,198
H20	375	363	72	250	230	1,290
H21	345	355	30	250	200	1,180
H22	345	339	200	200	400	1,484

（単位は時間数）

（出典 自己点検・評価報告書 平成23年3月）

資料7-1-②-8

施設・設備の利用

10. 施設・設備の利用

(1) 教室・実習室等施設

使用時間は20時までを原則とします。ただし、施設設備の使用規程、使用心得が定まっている施設設備については、各使用規程、使用心得によります。

1. 卒研・製図等正課で使用する場合（学科生）

（平日）

20時以降は指導教員立会い（指導下）のもと許可します。

ただし、22時～翌日7時に使用する場合は、所定の様式「時間外施設・設備使用許可願」により指導教員及び学科長の許可を得て、当日の15時までに学生課へ提出してください。

（土曜日・日曜日・休日）

20時以降は事前に指導教員の許可を受けておいてください。指導教員立会い（指導下）のもと許可します。

ただし、22時～翌日7時に使用する場合は、所定の様式「時間外施設・設備使用許可願」により指導教員及び学科長の許可を得て休みの前日の15時までに学生課へ提出してください。

（出典 平成23年度 学生生活のてびき P.45）

資料7-1-②-9

福利厚生施設

(8) 食堂・売店 本校学生及び教職員用に、食堂及び売店を設けています。

1. 学生食堂

営業時間	休業日	営業品目
平日（月～金曜日）		
11:30～13:30	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日、日曜日、祝祭日（振替休日を含む） ・長期休業日 <ul style="list-style-type: none"> 夏季（8月10日～9月30日（8月19日・20日を除く）） 冬季（12月24日～1月9日） 春季（2月28日～4月4日） ・高専祭代休（10月31日・11月1日）及び、教養行事の日（11月8日） 	定食（副食2～3品）、カレーライス、うどん、そば等

2. 売店

営業時間	休業日	営業品目
平日（月～金曜日）		
10:30～17:00 ただし、定期試験中は 10:30～13:30	上記 ただし、定期試験期間中は、 売店の営業を行う。	文房具、パン、牛乳、 コーヒー等

(注) 学校休業日及び各種学校行事の行われる日については営業品目、営業時間を多少変動することがあります。

<福利施設1階 自習室としての利用について>

福利施設1階を、食堂の営業時間を除いて、学生の自習室として利用することができます。

1. 利用期間について

年末年始等指定された期間は、閉室します。

その他随時、学校行事等により利用できない場合があります。

2. 利用時間

<授業期間中>

月～金曜日 14時30分～19時45分

休日 8時30分～19時45分

<休業期間中>

月～金曜日 8時30分～19時45分

休日 8時30分～19時45分

(出典 平成23年度 学生生活のてびき P.30)

資料 7 - 1 - ② - 10

学生ラウンジ・学生食堂



1 F 売店前の学生ラウンジ



1 F 学生食堂（自習室）

（出典 福利施設 1 階写真）

資料 7 - 1 - ② - 11

施設・設備の利用

10. 施設・設備の利用

.....

(4) 研修室等福利施設

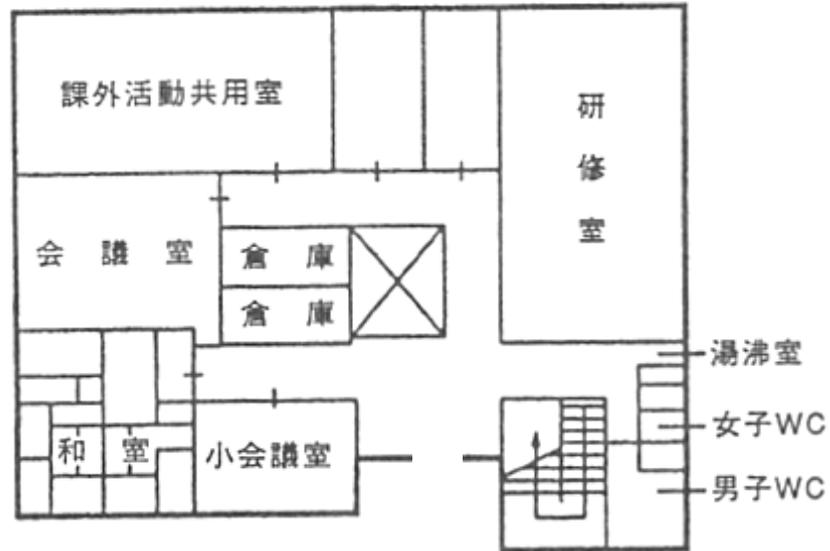
1. 研修室、課外活動共用室、和室、小会議室、会議室（以下「研修室等」という。）の使用に当たっては、この心得を遵守しなければなりません。
2. 研修室等を使用できる者は、本学の学生、職員及び校長が許可した者です。
3. 研修室等の使用時間は、原則として午前 9 時から午後 7 時までです。ただし、特別の理由があると認められるときは、この限りではありません。
4. 研修室等を使用するときは、学生準則第 35 条に定める施設・設備使用願を事前に学生課学生係（以下「学生係」という。）に提出し、使用許可を受けてください。
5. 研修室等を使用するに当たっては、次の事項を厳守してください。
 - (1) 許可を受けた施設、目的、日時以外は使用しない。
 - (2) 施設、設備、備品は大切に取り扱い、備品等は許可なく移動させ、又は室外に持ち出さない。なお、破損した場合は、速やかに学生係へ届け出る。
 - (3) 火気の取扱いには、十分注意する。
 - (4) 使用後は、整理、整頓、清掃、戸締り、消灯等の後始末をし、必ず施錠する。
 - (5) 使用終了後は、学生係に終了の報告と鍵の返却をする。ただし、勤務時間外の場合には、警備員に終了の報告と鍵の返却をする。
6. 研修室等の使用に当たって、管理上支障があると認められるときは、使用許可を取り消すことがあります。

（出典 平成 23 年度 学生生活のてびき P.47）

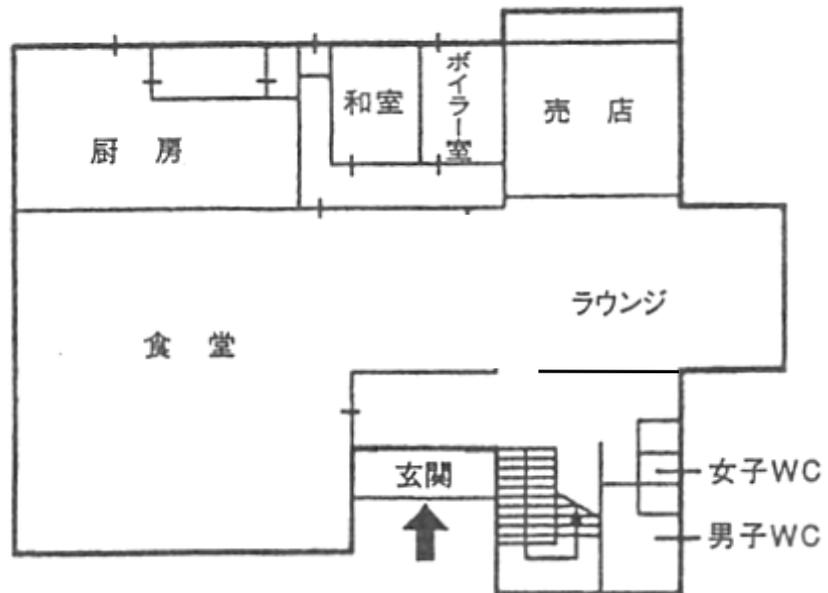
資料 7 - 1 - ② - 12

研修室等福利施設平面

2F



1F



(出典 平成 23 年度 学生生活のてびき P.164)

資料7-1-②-13

コミュニケーションスペース等



一般管理棟2Fコミュニケーションスペース



機械建築棟3Fコミュニケーションスペース



階段教室南側の東屋



ビオトープのある中庭

(出典 コミュニケーションスペース等写真)

観点7-1-③： 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されているか。また、資格試験や検定試験の受講、外国留学のための支援体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

本校では、意見箱、授業アンケート、オフィスアワー、担任の指導、後援会との会合等の多様な手段により、学習支援に関する学生のニーズの把握に努めている。

意見箱は、隔月の月上旬に学生玄関に設置し、校長・副校長が中心となって内容を検討したのち、回答を掲示している。無記名も可としているので自由な意見が投書され、学習支援に関する学生のニーズを直接把握することができる(資料7-1-③-1)。

授業アンケートも全員無記名であるため、自由記述欄には様々な意見が書き込まれる(資料7-1-③-2)。

オフィスアワーでは、どのような相談にも応ずる体制をとっており、編入学試験や資格試験に向けた受験勉強の相談等も多く、直接学生のニーズを知り得る貴重な機会となっている(資料7-1-①-7参照)。

担任は担任マニュアルに示されているとおり(資料7-1-③-3)、ロングホームルームや個別面談を通じて、学生本人にとっての最適な学習方法をアドバイスしている。

担任あるいは学科長が担当する進路相談においては、学生の希望する進路とそれを実現するための学習に関してのニーズを直接把握し、社会や技術・研究のニーズとも関連したより具体的な学習支援を実施している(資料7-1-③-4)。

学生が家庭で話すことを、後援会の総会等の席で、保護者から学校側に伝えられる。間接的ではあるが、これも学生からのニーズとして捉えられる(資料7-1-③-5)。

検定試験・資格試験としては、TOEIC IPテスト及び危険物取扱者の資格試験に力をいれ、また、外国留学のための支援についても配慮している(資料7-1-③-6)。

TOEIC IPテストは、年2回校内で実施しており、その都度、結果を分析している。また、受験費用を一部援助している。毎回、約300名が受験し、英語学習への関心が高まっている(資料7-1-③-7)。なお、TOEIC自習教材として、アルクネットアカデミーを導入しており、情報センター演習室、図書館やゼミ室等から学生が自由に利用できるよう環境を整えている。

危険物取扱者試験は化学の授業内容に関連しており、年3回の危険物取扱者の資格試験は、担当教員が希望者の募集・願書請求・受験料振替・願書提出等を一括して実施し、受験の便を図っている。乙4種の合格率は例年90%前後であり、非常に高い(資料7-1-③-8)。その他、情報処理技術者や二級建築士の資格等、学生の専門性とも関連して在学中に取得できる資格がある。また、一定の資格取得については、単位を与えている。

外国留学のための支援体制としては、「派遣留学生規程」(資料7-1-③-9)を定め、年度途中からの留学でも帰国後履修が継続できるように配慮した。また、留学先で取得した単位を認定することとした。

平成19年3月に、オークランド大学(ニュージーランド)における3週間の語学研修を開始した(資料7-1-③-10)。平成22年度も例年と同様に28名の参加者に対して十分な事前指導を実施した(資料7-1-③-11)。また、カリフォルニア州立大学アーバイン校と協定を結び、平成22年度より海外インターンシップを開始した。

(分析結果とその根拠理由)

学生が自主的に学習できるキャンパス機能を整備している。

意見箱、授業アンケート、オフィスアワー、担任による面接、後援会との会議等の多様な手段により、学習支援に関する学生のニーズの把握に努めている。

TOEIC IPテストや危険物取扱者の資格試験の受験を奨励・支援し、受験者も多く成果をあげている。

以上のことから、学習支援に関する学生のニーズを適切に把握し、また、資格試験や検定試験の受講、外国留学のための支援体制が整備され、機能している。

資料7-1-③-1

意見箱の意見の内容区分毎の件数

区分 \ 月	平成18年度						小計
	5月	7月	9月	11月	1月	3月	
授業関係	0	1	2	0	1	0	4
施設・設備関係	6	7	2	2	4	7	28
課外活動関係	0	0	1	0	1	0	2
その他	4	4	3	10	10	2	33
計	10	12	8	12	16	9	67

区分 \ 月	平成19年度					小計
	5月	7月	10月	12月	2月	
授業関係	1	4	4	2	3	14
施設・設備関係	5	10	3	0	0	18
課外活動関係	2	1	20	2	0	25
その他	6	6	0	0	2	14
計	14	21	27	4	5	71

区分 \ 月	平成20年度					小計
	5月	7月	10月	12月	2月	
授業関係	5	1	1	2	0	9
施設・設備関係	2	0	0	0	3	5
課外活動関係	0	0	0	0	2	2
その他	5	0	3	2	4	14
計	12	1	4	4	9	30

区分 \ 月	平成21年度					小計
	5月	7月	10月	12月	2月	
授業関係	0	1	0	1	1	3
施設・設備関係	1	0	1	1	2	5
課外活動関係	0	0	1	0	0	1
その他	1	1	1	1	1	5
計	2	2	3	3	4	14

区分 \ 月	平成22年度					小計
	5月	7月	10月	12月	2月	
授業関係	0	0	0	0	1	1
施設・設備関係	1	3	0	0	0	4
課外活動関係	0	0	0	0	2	2
その他	2	16	2	2	0	22
計	3	19	2	2	3	29

(出典 自己点検・評価報告書 平成23年3月)

資料7-1-③-2

授業アンケートの自由記述欄

2) 注文事項： いくら優れた作品であっても提出が遅れた人の評価が高いのは納得いかない。

担当者の自己評価・コメント

提出が遅延するものはほとんどいない、よいクラスであった。提出が遅れた場合は必ずかなりの減点を行っており、評価が極端に高くなることは少なくなっている。

(出典 平成22年度 4年生 授業アンケート)

資料7-1-③-3

担任によるガイダンス・助言

3-2 日常の学習指導

HR での指導：

年度当初、学年毎に必要なと思われる学習指導を行う。特に低学年には高専での勉強方法や評価、進路等について指導し、学習意欲の向上をはかる。

長期休業の前後時は休業中の学習、課題の取り組み等について指導する。

科目担当教員等から得た情報をもとに時期に応じた指導を行う。また適当な機会に学習・教育目標達成度の自己評価を書かせて点検・押印・管理する。

1～3年生は、各定期試験の前後に書かせる。目標では、A～Hの目標のどの分野の能力を伸ばすのか、また、不振科目・不得意科目をどう克服するのか等を具体的に書かせる。評価・反省では、どの目標の達成度が低かったのか、原因はどこにあるか等を書かせる。

4年生は、年度当初・後期最初に、5年生は、年度当初・後期最初・後期末に書かせる。目標では、A～Hの目標で△・×であった科目を具体的にあげて努力目標を示す。評価・反省では、達成度が低かった目標とその原因を書かせる。

(出典 担任マニュアル P. 5, 6)

資料7-1-③-4

進路相談における学習支援ニーズの把握

3-4 進路指導

就職指導	○職業選択に関して適切なアドバイスができるよう、個人懇談等を通して、学生の個性や学力の程度を十分に把握する。
進学指導	○専攻科進学、大学編入希望学生に対しては、基礎学力のみならず専門の学力向上について、その必要性を強調する。
	○専攻科進学、大学編入希望学生の学力を十分に把握し、進学後の授業・実験等に対応できる能力を身につけるよう指導する。「高専専攻科出願票」及び「大学編入学出願票」は原則として、出願受付開始日の1週間前までに学生課へ提出させる。

(出典 担任マニュアル P. 6, 7)

資料7-1-③-5

後援会総会に寄せられた保護者の意見（抜粋）

Q. 編入試験において他の一般大学の人に比べて、英語の問題を難しく思う高専生が多いようなので、編入試験で英語に困らない学力をつけて頂くことを希望します。（E科）

A. 編入試験を特に意識していませんが、社会に通じる英語力をつけるようにカリキュラム等を検討・実施しています。また、後援会にも、ご援助をいただいてTOEICや海外語学研修など、語学教育、特に英語力向上には力を入れています。

（出典 平成22年度 後援会総会資料）

資料7-1-③-6

明石工業高等専門学校中期計画

I-1-(1) 教育内容の充実と教育水準の向上

① 専門教育（学科）

建築学科

（専門知識内容と水準）

- ・ 建築における計画、環境、構造を主とする専門知識・技術を修得させ、卒業までに2級建築士相当の技術者能力を付与する。

② 専門教育（専攻科）

専攻科全体

- ・ 社会が要求している水準として、例えば技術士第1次試験や国家公務員Ⅱ種の水準を意識する。米国のFE試験も参考にする。

I-1-(2) 教育課程の点検・見直し

②教育課程

- ・ 資格取得学生に対して単位を与えることなどを検討する。

⑤達成度評価

- ・ 専門分野での資格試験結果からの判断
- ・ 公務員試験結果からの判断

⑥学習支援

- ・ TOEIC等の外部試験受験に対する支援を強化する。

（出典 明石工業高等専門学校中期計画）

資料 7 - 1 - ③ - 7

平成 22 年度 1 1 月 TOEIC IP テスト クラス別平均点

H22.11.24 実施

クラス	受験者数	トータルスコア	リスニング	リーディング
3M	26	384.3	237.7	146.7
3E	15	420.7	251.0	169.6
3C	23	352.2	219.8	132.4
3A	28	368.4	230.5	137.9
4M	39	443.6	257.9	185.6
4E	40	482.3	268.1	214.1
4C	43	431.0	250.2	180.8
4A	42	396.5	246.3	150.2
5M	8	421.3	245.6	175.6
5E	24	465.6	249.6	216.0
5C	18	436.9	238.1	198.9
5A	5	497.0	276.0	221.0
専 1ME	3	393.3	235.0	158.3
専 1AC	2	352.5	232.5	120.0
専 2ME	0			
専 2AC	1	390.0	245.0	145.0
トータル	317	421.7	247.3	174.4

(参考データ)

① 本校の過去のデータ

	5 月	12 月
H19	411 点 (265 人)	405 点 (315 人)
H20	409 点 (286 人)	416 点 (307 人)
H21	411 点 (340 人)	412 点 (280 人)
H21	424 点 (318 人)	422 点 (317 人)

② H20 年全国高専生の平均点 343 点。

③ H20 年全国大学生の平均点 430 点。(大学 1 年生は 405 点、2 年生は 431 点)

(出典 平成 23 年 1 月 教員会資料)

「危険物取扱者乙 4 種」試験内容案内

危険物取扱者試験**1. 試験の種類**

- 甲 乙種 1-6 類を総合した内容で、危険物に関してはオールマイティの資格。
工場等の監督者・統括責任者等に必要とされている。難易度からも上級。
- 乙 消防法上の危険物を 1-6 類に分類し、試験は各類毎に行われる。
製造所・工場・販売所等の実際上の取扱責任者に必要とされる資格。
1-6 類のうち、第 4 類の需要度が高い。
- 乙 4 ガソリン・アルコール・石油等を対象としており、消防法上、殆どの製造所・工場・販売所等で取扱者に取得が義務付けられている。
危険物といえば 乙 4 といわれるほどポピュラー。
- 丙 乙 4 のダイジェスト版。

2. 受験者

職務上の必要性から受験する社会人が多い。また、警察・自衛隊等の団体受験も盛ん。
資格を重視する社会的傾向に加え、受験資格に年齢制限がなく、又、実務経験も問われないことから、学生の受験も多い。レベルは 大学生で乙 4、工業高校や高専の 3 年生で丙・乙 4、2 年生で丙程度。

3. 受験指導

危険物の多くは、無機化合物・有機化合物の学習分野に出てくる物質なので、化学の授業の一環として危険物を取り上げ、6 月の試験実施時期に合わせ、2・3 年生を対象に受験指導を行っている。但し、資格取得を奨励はするが、受験は全く学生の任意である。

受験者数は 乙 4 の場合、6 月に 150 名程度、10 月に数名である。丙は平成 13 年以来受験希望者がいない。機械工学科には、例年、乙 4 取得後、更に乙種の他の類の取得を希望する学生が出ており、手続等の便宜は同様に計っている。

4. 乙 4 の合格状況

	明石高専	全国	兵庫県
平成 19 年度	94%		
21	88	35-40%	35-40%
22	84		

カリキュラムの変更に伴い 20 年度は受験者がいなかった。

合格率の低下は カリキュラム変更に伴う時間割以上の時間数の配分が影響していると思われる。

(出典 化学担当教員作成資料)

派遣留学生規程

- (趣旨)
- 第1条 本校の学生で、明石工業高等専門学校学則（以下学則という）第30条第4項の規定に基づき外国の高等学校または大学（以下「外国の高等学校等」という）に留学を志願するもの及び外国の高等学校に留学し履修した授業科目の単位の認定を得ようとするものの取り扱いについては、法令等及び学則に別段に定めがあるもののほか、この規定に定めるところによる。
- (定義)
- 第2条 この規定において、次に各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。
- (中略)
- (外国の高等学校等との協議)
- 第3条 学生の留学は、外国の高等学校等との協議に基づき行うものとする。ただし、やむを得ない事情により事前の協議を行うことが困難な場合はこの限りではない。
- 2 前項の協議は、次に掲げる事項について、あらかじめ学科長の発議を受け、教務委員会の議を経て、校長が行うものとする
- 一 履修できる授業科目の範囲 二 単位の認定方法 三 履修期間 四 授業料等の費用の取り扱い方法 五 その他
- (留学許可申請手続き)
- 第4条 留学を志願する学生は、別に定める期間に所定の願書により、校長に留学の許可を申請しなければならない。
- (留学の許可)
- 第5条 前条の申請があったときは、校長は、教務委員会の議を経て、外国の高等学校等に依頼し、その了解を得てこれを許可する。
- (留学期間)
- 第6条 派遣留学生の留学期間は、1年以内とする。
- (在学期間の扱い)
- 第7条 派遣留学生としての留学期間は、本校の在学期間に含めるものとする。
- (留学報告書の提出)
- 第8条 派遣留学生は、留学期間が満了したときは、直ちに（帰国の日から1月以内）に所定の留学生報告書及び当該外国の高等学校等の長が交付する学業成績証明書を提出しなければならない。
- (単位の認定)
- 第9条 派遣留学生が外国の高等学校等で修得した単位は、学業成績証明書により、教務委員会の議に基づき、30単位を限度として、本校において履修したものと認定する。
- (以下省略)

(出典 派遣留学生規程)

海外語学研修の実施状況

	プログラム名	行先	国	日程	参加人数
1	ヴィクトリア大学語学研修ホームステイプログラム	ヴィクトリア大学	カナダ	17.3.7~3.27	28
2	第1回明石高専オークランド大学海外研修	オークランド大学	ニュージーランド	19.3.3~3.25	35
3	第2回明石高専オークランド大学海外研修	オークランド大学	ニュージーランド	20.3.1~3.21	19
4	第3回明石高専オークランド大学海外研修	オークランド大学	ニュージーランド	21.2.27~3.22	19
5	第4回明石高専オークランド大学海外研修	オークランド大学	ニュージーランド	22.3.6~22.3.21	14
6	第5回明石高専オークランド大学海外研修	オークランド大学	ニュージーランド	23.3.4~23.3.23	28

(出典 学生派遣専門委員会資料)

資料7-1-③-11

明石工業高等専門学校

オークランド大学海外研修保護者説明会

【日時】平成22年10月15日(金) 15:30~17:00

【場所】本館3F合併教室

【説明会内容】

1. 学生派遣専門委員会・ISAの紹介(5分)
2. プログラム全般の説明(15分)
3. オークランド大学・ELAについて(10分)
4. 旅行全般の説明(20分)
5. 質疑応答(10分)
6. 個別相談

【配布資料】

1. (資料1) 予定と留意事項
2. (資料2) オークランド大学・ELAについて
3. (資料3) 2009年3月実施オークランド大学研修 アンケート結果

(出典 学生派遣専門委員会 保護者説明会配布資料)

観点7-1-④： 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援体制が整備されているか。
また、必要に応じて学習支援が行われているか。

(観点に係る状況)

本校では、留学生、編入学生を受け入れており、それぞれに支援体制を実施している。

留学生に関しては、国際交流委員会の下に留学生受入・教育専門委員会があり、指導に当たっている。また、「チューター実施要綱」(資料7-1-④-1)に基づき、各留学生に1名のチューターを充てている。

留学生の教育課程については、3年次に、週1限の日本語の授業を設けて継続的な日本語学習を実施し、人文系の科目を基礎専門科目分野の学習に代えるなど留学生向けのカリキュラム(資料7-1-④-2)を組んでいる。また、全留学生対象に年間56時間の日本語補講を行っている。さらに、年1回、留学生懇談会を実施し、その中で留学生にとって有益な講演会を実施するとともに校長との意見交換会を行っている。

編入学生に対しては、12月に専門科目及び一般科の教員から指導を行い、入学前の3月中旬に入学オリエンテーションを実施し、必要に応じて専門学科やクラス担任等による事前指導を実施している。また、入学後は、随時担任と連絡をとりながら、各教科担当教員が、教科に関する相談を受け、補充指導を実施している。

障害を持つ学生については、現在は該当者が在籍していないが、校内のバリアフリー化が進められている。また、身体障害又は発達障害のある学生に対する支援は、「身体障害又は発達障害のある学生に対する特別修学支援要領」(資料7-1-④-3)で対応を定めている。

(分析結果とその根拠理由)

留学生に対しては、教員・チューターによる綿密な支援体制が組み立てられており、留学生向けのカリキュラムも取り入れられて、実際に機能している。

編入学生に関しては、担任、教科担当教員の個別の指導により、支援は機能している。

以上のことから、特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援体制が整備されている。また、必要に応じて学習支援が行われている。

資料 7-1-④-1

チューター制度実施要項

第1 明石工業高等専門学校外国人留学生規程第6条のチューターについては、この要項の定めるところによる。

第2 チューターは、第3学年及び第4学年の外国人留学生について、当該留学生と同一学科の学生の中から、指導教員（寮生の場合は、指導教員及び校長補佐（寮務主事））の推薦に基づき校長が委嘱する。

第3 チューターは、その職務に関し、必要に応じ指導教員（寮生の場合は、指導教員及び校長補佐（寮務主事））の指導を受けるとともに、毎月チューター報告書（別記様式）を校長に提出しなければならない。

第4 チューターには、予算の範囲内において、前期及び後期の2期に分けて謝金を支給するものとする。

(以下略)

(出典 チューター制度実施要項)

(資料 7-1-④-2)

留学生向けのカリキュラム

「→」の左の科目を右の科目に変更して授業を実施している。

3M留学生： 国語Ⅱ→代数Ⅰ、
日本史→機械演習、 日本語を追加

3E留学生： 国語Ⅱ→電気電子計測Ⅰ、
日本史→電気回路Ⅱ、 日本語を追加

3A留学生： 日本史→建築演習、 日本語と建築構造力学を追加

(出典 平成22年度前期時間割)

資料 7-1-④-3

身体障害又は発達障害のある学生に対する特別修学支援要領

(趣旨)

第1 この要領は、明石工業高等専門学校特別修学支援体制要項第1に基づき、身体障害又は発達障害（以下、「障害」という。）のある学生に対する特別修学支援（以下、「支援」という。）について定める。

(支援の要請等)

第2 障害があると診断された学生は、保護者と連名により、特別修学支援申請書（別紙1）に、医師の診断書を添付した上で、学級担任又は指導教員を経由して校長へ支援を要請することができる。

2 学級担任又は指導教員は、障害があると診断されていない学生においても、その様態を示すと判断した場合には、速やかに教務主事へ報告する。

3 教務主事は、前項の報告を受けた場合には、保護者、本人、学級担任又は指導教員、及び看護師を交えて協議し、必要に応じて医師の判断を仰いだ上で、支援の実施の可否を判断する。

(出典 身体障害又は発達障害のある学生に対する特別修学支援要領)

観点 7-1-⑤： 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。

(観点に係る状況)

本校のクラブ総数は27クラブ（体育系18クラブ、文化系9クラブ）、13同好会がある（資料7-1-⑤-1）。支援体制としては、可能な限り実技指導が行える課外活動指導教員を配置し、複数顧問制をとっている（資料7-1-⑤-2）。実技指導のできる教員がいないクラブでは、外部コーチを招聘して実技指導を可能にしている。

クラブ予算は学生会費から分配されるが、毎年活動計画、活動実績を報告し予算配分が行われている（資料7-1-⑤-3）。

体育系クラブの利用施設については、限られた施設を有効利用するため、毎年、学生会体育局が中心となって施設の利用時間割の編成を行っている。

学生会は、本部（文化局、体育局、環境局）と高専祭実行委員会からなり、学生委員会委員各1名が指導教員として配置され、学生の相談窓口となっている（資料7-1-⑤-4）。学生会の大イベントである高専祭、文化発表会、球技大会などは、必要に応じて学生委員、学級担任をはじめ、指導教員の支援をうけながら計画・実施され、適切に開催されている。

(分析結果とその根拠理由)

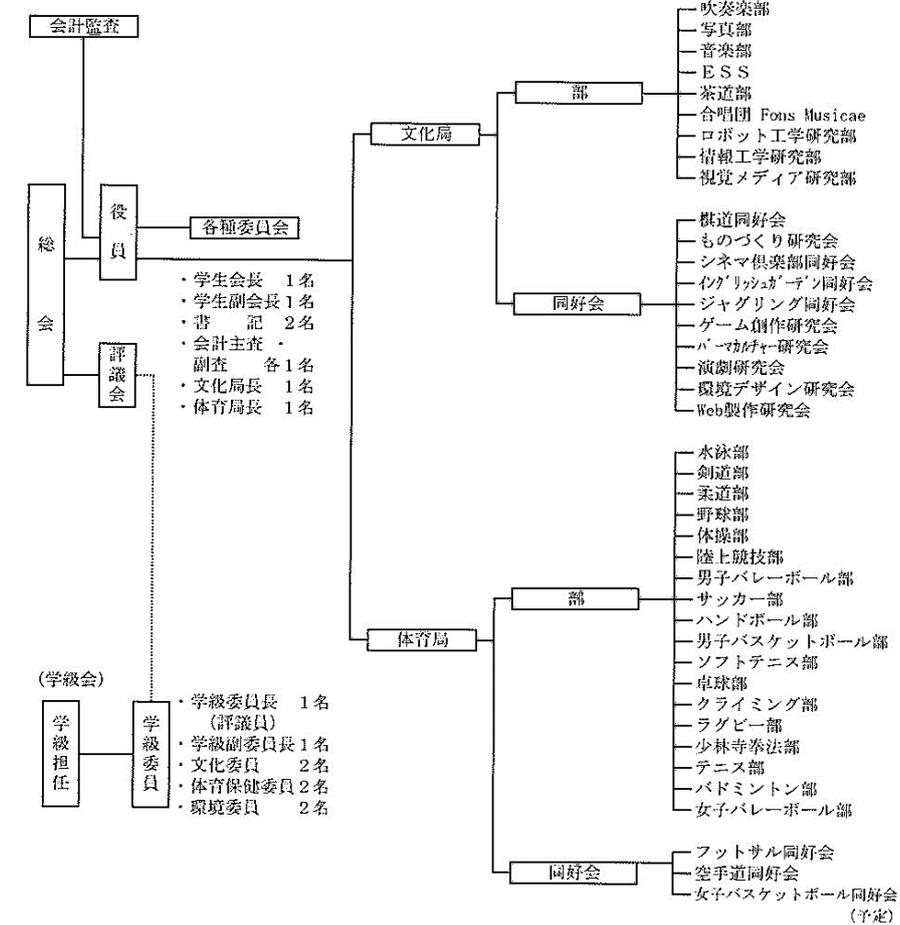
クラブ、同好会に関しては全教員が分担して担当し、活動を支援している。また実技に関しては必要に応じて外部コーチを招聘している。

学生会の活動は、学生委員を中心に全教員が支援して、円滑に機能している。

以上のことから、学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能している。

学生会の組織と課外活動

(1) 学生会組織の概要



※女子バスケットボール同好会は、学生会の承認がおりた時点で発足となります。

(出典 平成23年度 学生生活のてびき P.39)

資料 7-1-⑤-2

平成 23 年度 課外活動指導教員

局	部・同好会	クラブ名	指導教員名				
文化局	部	吹奏楽部	○高野	大向	大橋	田坂	高田
		写真部	○松田	本間			
		音楽部	○藤原	中川	角野		
		E S S	○ハーバート	穂本			
		茶道部	○堤	八木	東野		
		合唱団 Fons Musicae	○前原	松下(通)	本間		
		ロボット工学研究部	○関森	岩野	大森	堀	越智
		情報工学研究部	○中井	濱田	新井		
		視覚メディア研究部	○成枝	富永			
	同好会	棋道同好会	○神田	仁木	小笠原		
		ものづくり研究会	○森下				
		シネマ倶楽部同好会	○廣田				
		イングリッシュガーデン同好会	○前原				
		ジャグリング同好会	○藤原				
		ゲーム創作研究会	○佐村				
		パーマカルチャー研究会	○平石	水島			
		演劇研究会	○面田				
		環境デザイン研究会	○工藤				
		Web製作研究会	○松田	田中			
体育局	部	水泳部	○濱田	本村	面田	ハーバート	
		剣道部	○松宮	堀	中川		
		柔道部	○松下(幸)	関森	大森		
		野球部	○石丸	境田	藤原	大橋	後藤
		体操部	○善塔	工藤			
		陸上競技部	○大向	田中	藤野	上	前原
		男子バレーボール部	○江口	細川	田坂	角野	
		サッカー部	○加藤	佐村	鍋島	大塚	
		ハンドボール部	○荘所	池田	神田	穂本	仁木
		男子バスケットボール部	○本間	檀	坂戸	小笠原	
		ソフトテニス部	○井上	堤	友久	松田	
		卓球部	○倉光	史	八木	高野	
		クライミング部	○平石	中井	工藤		
		ラグビー部	○森下	渡部	富永		
		少林寺拳法部	○國峰	越智	山形		
		テニス部	○武内	岩野	成枝	石田	
	バドミントン部	○高田	新井	廣田	武田		
	女子バレーボール部	○水島	松下(通)	江口	石内	東野	
	同好会	フットサル同好会	○工藤				
		空手道同好会	○越智				
女子バスケットボール同好会		○石田					

(出典 平成23年度 学生生活のてびき P.171)

資料 7 - 1 - ⑤ - 3

学生会 決算

平成 21 年度収入

	予算額	決算額	差引額	備考
I. 会費収入	4644800	4628400	-16400	
II. 繰越金・利息	2108774	2110138	1364	
III. その他	0	0	0	
総収入	6753574	6738538	-15036	

収入内訳

I. 会費収入

	予算額	決算額	差引額	備考
平成 21 年度 年会費	4300800	4286400	-14400	4800 円 x889 名 2400 名 x5 名
				平成 20 年度年会費 2400 円 x1 名 4800 円 x1 名
平成 21 年度 入会費	344000	342000	-2000	2000 円 x170 名 20 年度 1 名
小 計	4644800	4628400	-16400	

II. 繰越金・利息

	予算額	決算額	差引額	備考
平成 21 年度繰越金	2108774	2108774	0	
利息	0	1364	1364	618 円 (8/9) 746 円 (2/14)
小 計	2108774	2110138	1364	

平成 21 年度支出内訳

A. 本部

	予算額	決算額	差引額	備考
a. 事務設備費	60000	107625	-47625	
b. 行事運営費	40000	1736	38264	
c. 運動場用石灰費	60000	87150	-27150	
d. 卒業記念費	230000	164640	65360	
e. 複写機維持費	120000	37878	82122	
f. 交流会参加補助費	40000	0	40000	
g. その他	0	0	0	
小 計	550000	399029	150971	

B. 文化局

	予算額	決算額	差引額	備考
a. 吹奏楽部	145000	145000	0	
b. 写真部	47000	29245	17755	
c. 音楽部	138000	0	138000	
d. E S S	0	0	0	
e. 茶道部	61350	11833	49517	
f. 合唱団 Fons Musicae	6000	6000	0	
g. ロボット工学研究部	101050	101050	0	
h. 情報工学研究部	60580	49960	10620	
i. 視覚メディア研究部	36200	28045	8155	
小 計	595180	371133	224047	

C. 体育局

資料 7-1-⑤-3 (続き)

	予算額	決算額	差引額	備考
a. 水泳部	117800	84695	33105	
b. 剣道部	5200	0	5200	
c. 柔道部	111750	111750	0	
d. 野球部	222170	222170	0	
e. 体操部	0	0	0	
f. 陸上競技部	111755	18950	92805	
g. 男子バレーボール部	178840	177538	1302	
h. サッカー部	96900	96900	0	
i. ハンドボール部	169468	169468	0	
j. 男子バスケットボール部	127850	127850	0	
k. ソフトテニス部	65692	65692	0	
l. 卓球部	33480	7560	25920	
m. クライミング部	47840	40635	7205	
n. ラグビー部	2835	0	2835	
o. 少林寺拳法部	54600	0	54600	
p. テニス部	146250	142500	3750	
q. バドミントン部	212345	212270	75	
r. 女子バレーボール部	47360	26040	21320	
小 計	1752135	1504018	248117	

D. 同好会

	予算額	決算額	差引額	備考
a. 棋道同好会	0	0	0	
b. ものづくり研究会	20002	19592	410	
c. シネマ倶楽部同好会	0	0	0	
d. イングリッシュガーデン同好会	13000	0	13000	
e. ジャグリング同好会	17174	13755	3419	
f. ゲーム創作研究会	15000	6282	8718	
g. パーマカルチャー研究会	0	0	0	
h. 演劇研究会	5000	0	5000	
i. 環境デザイン研究会	19440	0		
j. フットサル同好会	0	0	0	
k. 空手道同好会	0	0	0	
小 計	89616	39629	49987	

その他

	予算額	決算額	差引額	備考
E. 予備費	2510195	99200	2410995	収入誤差は予備費で
F. 高専祭費	1000000	1000000	0	
G. ユニフォーム購入補助費	100000	0	100000	平成 22 年度に繰り越

補正予算

	予算額	決算額	差引額	備考
a. 文化局	30000	30131	-131	
b. 体育局	70000	48286	21714	
小 計	100000	78417	21583	

(出典 平成 22 年度 学生会総会資料)

資料 7-1-⑤-4

学生委員による学生会の指導担当

1. 学生委員会の役割分担について

学生会指導： 越智副主事（椿本委員） 高専祭実行委員会指導：松宮副主事（荘所委員）

学生指導・補導： 関森副主事（越智副主事、椿本委員）

（出典 平成21年4月8日 教員会資料）

観点 7-2-①： 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

（観点に係る状況）

学生の生活に関する指導・相談・助言は、主として学級担任、学生委員、看護師、学生相談室員、専門のカウンセラーが当たっている（資料 7-2-①-1）。

学級担任は担任マニュアルに示されているように、クラスの各学生の状況をよく把握し日常的な指導に当たっている（資料 7-2-①-2）。

学生委員会は、全学生を対象に「学生委員会規程」に基づき指導に当たっている（資料 7-2-①-3）。「学生生活のてびき」に学生委員会が所管する各種の案内や規則を掲載している（資料 7-2-①-4）。

学生相談室員・専門のカウンセラーは、学生個人のプライバシーを保護するため、独立した組織として学生に接している（資料 7-2-①-5）。セクシャルハラスメントに関しても同様である（資料 7-2-①-6）。

授業料免除や奨学金など学生の経済面に係わる相談・助言については、主として学生委員、担任、学生課が当たっている。

授業料免除については、「学生生活のてびき」（資料 7-2-①-7）、掲示板、担任等を通じて案内し、家計・成績・人物等を考慮して、学生委員会で選考している。授業料支援金制度のなかった平成 21 年度後期の採択者は、申請者 63 名に対して全免 35 名、半免 10 名であった。

日本学生支援機構奨学金の平成 22 年度新規受給者は要件を満たす申請者 16 名が全員受給している。同奨学金に関しては、「学生生活のてびき」で案内している（資料 7-2-①-8）。他の奨学金も含めた現在の受給学生は全体の 10%程度である（資料 7-2-①-9）。

（分析結果とその根拠理由）

生活に関わる指導・相談・助言には多くの教職員が整備された体制の下で取り組み、順調に機能している。また、経済面に係る相談・助言も、学級担任・学生課職員・学生委員が連携している。

以上のことから、学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言を行う体制が整備され、機能している。

学生生活に関する相談体制 学生相談室からの呼びかけ

充実した学生生活のために

学生相談室は、学生がもつ個人的諸問題についての相談活動を行い、学生自身がより良い高専生活を送れるよう支援することを目的に設置されました。
 悩みは、人に話すことで半分になるといわれています。
 毎日の学生生活の中で、人間関係や自分の生き方など、様々な事柄に悩んだり迷ったりすることは、誰にでもある普通のことであり、それが生きている証なのです。
 学生相談室は、そうしたあなたが自分の気持ちを確認したり、どんなことができるかを考えるための、お手伝いをしたいと思います。
 ひとりで心配したり、悩んだりしないで、相談室へ気軽に足を運んでみて下さい。

平成14年度より非常勤カウンセラーをお迎えしました。学生相談室のメンバーとして、専門的な見地から皆さんの相談を受けていただきます。
 これを機会に、学生相談室が一層有効に活用されることを願っています。

(出典 本校ホームページ 学生相談室)

担任の生活指導

- 4. 生活指導
 - 4-1 出欠の把握
 - 4-2 身だしなみ
 - 4-3 郊外生活
 - 4-4 盗難防止
 - 4-5 寮生の指導
 - 4-6 通学生の指導
 - 4-7 車輛使用に関する指導
 - 4-8 クラブ活動の指導
 - 4-9 学生相談室・保健室等との連携
- 5. 人権教育に関わる指導

- 6. 保護者との連絡

- 7. 事務的業務
 - 7-1 身上自署録の活用
 - 7-2 授業料免除申請
 - 7-3 奨学金申請
 -

(出典 担任マニュアル P. 4-8)

資料 7-2-①-3

学生委員会規程

第1条 学生の補導厚生及び課外教育に関する事項について審議するため、学生委員会（以下「委員会」という）を置く。

第2条 委員会は、次の委員をもつて組織する。

- (1) 校長補佐（学生主事）及び学生副主事
- (2) 各学科及び一般科目の教授、助教授及び講師のうちから校長が委嘱した者各1名
- (3) 学生課長

(出典 学生委員会規程)

資料 7-2-①-4

各種の案内及び規則

4. 学生生活

- (1) 諸手続き
.....
- (7) 学生への連絡・通知
- (8) 服装・履物
- (9) 清掃
- (9) ホームルームの管理
- (11) 自動車及び自転車の使用
※18. (10) 学生の車輛規則
- (12) 自動車運転免許取得
※18. (11) 運転免許取得に関する要領
- (13) 学生生徒旅客運賃割引証・通学証明書
- (14) 喫煙・飲酒
- (15) アルバイト
- (16) 遺失物及び拾得物
- (17) 盗難の防止
- (18) 持ち物

5. 福利厚生支援

- (1) 高等学校等就学支援金（1～3年生対象）
- (2) 授業料免除及び徴収猶予（4年生以上対象）
※18. (12) 授業料及び寄宿料の免除並びに授業料の徴収猶予
(13) 授業料免除者選考基準
- (3) 奨学金制度
- (4) 健康診断・保健室並びに健康診断
.....
- (7) 災害共済給付制度
- (8) 食堂・売店
.....

15. 賞 罰

- (1) 表 彰 ※18. (26) 学生の表彰に関する規程
- (2) 懲 罰 ※18. (27) 学生の懲戒に関する規程

18. 主な規則

- (15) ～ (18) 学生会関係規則

(出典 平成23年度 学生生活のてびき)

学生相談室員・専門のカウンセラー

7. 福利厚生支援

(4) 学生相談・カウンセリング・・・・・・・・・p.27

本校に在学する間、学習、学校生活、課外活動、寮生活、家庭生活、交友関係、異性問題、人生観、進路等のいろいろな問題に直面し、自分一人では解決できないような悩みを持つことがあるでしょう。

そのようなときに、問題の解決の手助けをするために、次のような学生相談制度を設けています。

○ 学生相談室

学生相談室では、6名で相談に応じます。窓口は学生相談室または保健室ですが、相談室員へ直接連絡しても結構です。当日の担当室員や開室時間等の情報は学生玄関掲示板及び学生相談室入口の掲示でお知らせします。相談員は次のとおりです。

氏 名	電話番号	メールアドレス
前 原 澄 子 (学生相談室長教員)	6 0 8 1	maehara@akashi.ac.jp
加 藤 隆 弘 (学生相談室教員)	6 1 9 1	katoh@akashi.ac.jp
中 井 優 一 (学生相談室教員)	6 1 3 5	ynakai@akashi.ac.jp
大 橋 健 一 (学生相談室教員)	6 1 7 5	ohashi@akashi.ac.jp
大 塚 毅 彦 (学生相談室教員)	6 2 3 0	otsuka@akashi.ac.jp
川 原 美千子 (看 護 師)	6 0 4 8	michiko@akashi.ac.jp
川 端 正 美 (学生相談室カウンセラー)	6 2 8 3	kawabata@s.akashi.ac.jp

(注) 1. 電話番号については、078-946- の後に続けてください。

2. メールは、予約に使用してください、原則としてメールでの相談は受け付けません。

○ 非常勤医師による精神保健相談日

月に1回医師が来校し、相談に応じます。受付窓口は保健室ですが、相談は別室で受けます。来校日は学生玄関掲示板等に掲示しています。相談内容については秘密厳守で、口外されませんので、気軽に利用してください。

○ 全教員によるオフィス・アワー (学生相談日)

全教員がいわゆるオフィス・アワーを設けており、相談事項は学習、生活等何でもかまいません。オフィス・アワーの時間帯には原則として自分の研究室に在室していますので、一番相談しやすい教員に相談してください。

日程等は学生玄関掲示板に掲示しています。

※いずれも相談の中で話されたことを、本人に無断で外部に漏らすことはありません。また第三者がかかわるような場合であっても、本人の意思を十分に尊重して対応します。

急を要する場合は、決まった日程以外でも保健室や担任等に申し出てください。保護者の方の相談も受け付けます。

(出典 平成 23 年度 学生生活のてびき P.27)

資料 7-2-①-6

セクシャル・ハラスメント相談員

7. 福利厚生支援

(5) セクシャル・ハラスメントの防止・・・p. 27～28

セクシャル・ハラスメントとは、およそ当事者が望まない、言葉や行動による性的アプローチ、拒否できない弱い立場にある人に向けられる、望まない性的圧力をいいます。このような行為などの結果、勉強や活動をするうえで何らかの不利益を与えられたり、それが繰り返されることによって学校生活環境が著しく悪化するようなことがあってはなりません。加害者にも被害者にもならないように、十分注意してください。

学生がセクシャル・ハラスメントを受けた場合は、一人で悩まないで、友人、家族、先輩、校長、担任、クラブ顧問、その他の教職員、カウンセラーなど自分の信頼できる人に相談（メール、手紙でもよい）してください。

また、本校ではセクシャル・ハラスメント相談員を置いています。相談員は次のとおりです。

氏 名	電話番号	メールアドレス
前 原 澄 子 (学生相談室長教員)	6 0 8 1	maehara@akashi.ac.jp
加 藤 隆 弘 (学生相談室教員)	6 1 9 1	katoh@akashi.ac.jp
中 井 優 一 (学生相談室教員)	6 1 3 5	ynakai@akashi.ac.jp
大 橋 健 一 (学生相談室教員)	6 1 7 5	ohashi@akashi.ac.jp
大 塚 毅 彦 (学生相談室教員)	6 2 3 0	otsuka@akashi.ac.jp
川 原 美千子 (看 護 師)	6 0 4 8	michiko@akashi.ac.jp
石 川 白 (総 務 課 長)	6 0 1 6	ishikawa@akashi.ac.jp
仲 茂 也 (学 生 課 長)	6 0 4 2	s.naka@akashi.ac.jp
黒 田 純 子 (総 務 課 課 長 補 佐)	6 1 4 8	kuroda@akashi.ac.jp
原 苗 美 (総 務 課 課 長 補 佐)	6 1 4 9	hara@akashi.ac.jp

(注) 1. 電話番号については、078-946- の後に続けてください。

(出典 平成 23 年度 学生生活のてびき P.28)

資料 7-2-①-7

授業料免除

5. 福利厚生支援の抜粋

(2) 授業料免除及び徴収猶予 (4 年生以上)

1. 学業成績優秀であって学資の支弁困難な者、風水害・火災等によって学資の支弁困難となった者については、本人の申請により、選考のうえ、授業料の全額又は半額が免除されることがあります。
2. 授業料免除及び徴収猶予希望者の募集は、前期分については 2 月頃、後期分については 7 月頃に掲示するとともに学級担任を通じて連絡します。

(出典 平成 23 年度 学生生活のてびき P.25)

日本学生支援機構奨学金

5. 福利厚生支援の抜粋

(3) 奨学金制度

1. 日本学生支援機構奨学金 (旧日本育英会奨学金)

日本学生支援機構奨学金は、育英奨学事業を行っている機関です。

本校の学生であり、人物・学業ともに特に優れ、かつ健康であって、経済的理由により著しく修学が困難であると認められる者に対して、選考により、奨学金が貸与されます。

① 奨学生の募集

募集は、年 1 回 (4 月) 行われます。受付期間、手続の要領については、その都度掲示等によりお知らせします。

② 奨学金の貸与月額

(1) 第 1 種奨学金 (無利子貸与)

奨学金は、入学年度か、自宅通学か否か、及び低学年 (1～3 年生) か高学年 (4・5 年生・専攻科生) か、により貸与月額が異なります。

区 分	入 学 年 度	自 宅	自 宅 外
学 科	2011～2009 (平成23～21)	21,000円	22,500円
	2008～2007 (平成20～19)	45,000円	51,000円
専 攻 科	2011, 2010 (平成23, 22)	45,000円	51,000円

(2) 第二種奨学金 (有利子貸与)

4・5 年、専攻科生については、自宅・自宅外通学、入学年度に関わりなく 30,000 円・50,000 円・80,000 円・100,000 円・120,000 円の月額の中から選択し貸与を受けることができます。また、第一種と併せて借りることもできます。

(3) 緊急採用・応急採用

家計を支えている者が、失職・破産・会社の倒産・死亡等又は火災・風水害による被災等により家計が急変し、緊急に奨学金の必要が生じた場合には、第一種・第二種奨学金とは別の基準により、貸与を受けることができます。

(出典 平成 23 年度 学生生活のてびき P.25,26)

資料7-2-①-9

奨学金の受給状況

日本学生支援機構及びその他の奨学生数の年度別一覧表

年度 (平成)	学年	日本学生支援 機構の奨学生	その他の 奨学生数	計	在学学生数	对在学学生比 (%)
18	1	3	10	13	169	7.7
	2	13	6	19	167	11.4
	3	6	4	10	167	6.0
	4	16	11	27	170	15.9
	5	12	5	17	166	10.2
	計	50	36	86	839	10.3
19	1	17	3	20	169	11.8
	2	5	11	16	164	9.8
	3	14	5	19	167	11.4
	4	10	5	15	171	8.8
	5	18	13	31	158	19.6
	計	64	37	101	829	12.2
20	1	10	4	14	166	8.4
	2	17	4	21	166	12.7
	3	5	11	16	166	9.6
	4	14	4	18	171	10.5
	5	10	5	15	165	9.1
	計	56	28	84	834	10.1
21	1	10	5	15	166	9.0
	2	13	7	20	169	11.8
	3	17	6	23	165	13.9
	4	6	12	18	167	10.8
	5	15	7	22	168	13.1
	計	61	37	98	835	11.7
22	1	16	2	18	169	10.7
	2	10	9	19	168	11.3
	3	15	10	25	163	15.3
	4	20	5	25	170	14.7
	5	10	13	23	165	13.9
	計	71	39	110	835	13.2
5年間の平均		60	35	96	834	11

(出典 平成22年度 学生課資料)

観点7-2-②： 特別な支援が必要と考えられる学生への生活支援等を適切に行うことのできる状況にあるか。また、必要に応じて生活支援等が適切に行われているか。

(観点に係る状況)

留学生の指導は、各学科の留学生指導教員とクラス担任が窓口になるとともに、学生チューター、ホストファミリー制度を導入し、多面的な支援を行っている(資料7-2-②-1)。

留学生全員は現在、学生寮に入寮しており、C寮内に宗教上の配慮から身を清めるために使用するシャワールームを設置している。食事に関しても自炊をする学生のために、補食室(冷蔵庫3台、レンジ設備、空調)を整備している(資料7-2-②-2)。また、寮内各部屋よりインターネットへの接続が可能となっており、留学生が個々に生活の支援及び母国との連絡等に使用している。

障害のある学生のため、障害者用トイレ、スロープ、エレベーター等が設置されている(資料7-2-②-3)。また、緊急事態に対応するため、AED(自動体外式除細動器)4台を配備した。さらに発達障害を有する学生の対応体制を平成21年度にとりまとめ(7-1-④-3参照)、教職員がチームを組んで対応する体制を整えた。

(分析結果とその根拠理由)

留学生への支援は、学生寮、担任、チューター、ホストファミリーと複数の支援体制が整えられ、学生寮の留学生に対する施設も整備されている。

また、発達障害を有する学生の対応体制は平成21年度にとりまとめ、教職員がチームを組んで対応する体制を整えた。バリアフリー対応の施設、設備も整備されている。

以上のことから、特別な支援が必要と考えられる学生への生活支援等を適切に行うことができる。また、必要に応じて生活支援等が適切に行われている。

資料 7 - 2 - ② - 1

留学生とチューター

編入学年度	国籍	経費負担	性別	住居	指導教員	チューター	進路
18	マレーシア	マレーシア	男	学寮	松下通紀	3 M学生	進学
	バングラデシュ	国費	男	学寮	上泰	3 E学生	進学
	ラオス	国費	男	学寮	石丸和宏	3 C学生	進学
	マレーシア	マレーシア	女	学寮	八木雅夫	3 A学生	進学
19	マレーシア	マレーシア	男	学寮	松下通紀	3 M学生	進学
	マレーシア	マレーシア	女	学寮	鍋島康之	3 C学生	進学
	ベトナム	国費	男	学寮	鍋島康之	3 C学生	進学
	インドネシア	私費	男	学寮	松下通紀		進学
20	マレーシア	マレーシア	男	学寮	松下通紀	3 M学生	進学
	モンゴル	国費	男	学寮	佐村敏治	4 E学生	進学
	ラオス	国費	男	学寮	荘所直哉	3 A学生	進学
21	マレーシア	マレーシア	女	学寮	史鳳輝	3 M学生	
	モンゴル	国費	男	学寮	佐村敏治	3 E学生	
	ベトナム	国費	男	学寮	佐村敏治	3 E学生	
	マレーシア	マレーシア	女	学寮	鍋島康之	3 C学生	
22	マレーシア	マレーシア	男	学寮	史鳳輝	3 M学生	
	マレーシア	マレーシア	男	学寮	宮本行庸・堀桂太郎	3 E学生	
	モンゴル	国費	女	学寮	工藤和美	3 A学生	

(出典 平成22年度 学生課作成書類)

資料 7 - 2 - ② - 2

C寮一階平面図



(出典 平成23年度 学生生活のてびき P.168)

明石高専バリアフリーマップ



(出典 平成23年度 学生生活のてびき P.161より作成)

観点7-2-③： 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の間として有効に機能しているか。

(観点に係る状況)

平成23年5月現在、学寮の定員205名、在寮者188名と交通至便な立地ながら入寮希望者が多く、男子寮91%、女子寮94%と定員に対する充足率は高い。平成16年度に女子寮が整備され、留学生を含む女子の入学条件が改善された(資料7-2-③-1)。学生寮の利用料金は3食付で月額約36,800円(男子寮)となっている(資料7-2-③-2)。

1・2年生に対しては、毎朝7時50分に起床指導をし、点呼、ラジオ体操を行っている。毎朝9時から寮母が、各寮を巡回し、点検簿にチェックを行う。遅刻している場合には、その都度寮母が、通学を促し、遅刻が頻繁な場合には、学寮委員が注意を行う。また、改善がみられない学生に対しては、自宅から通学をさせることもある(資料7-2-③-3)。

夜は、22時に各寮指導寮生が点呼をとり宿直教員のもとに点呼簿を持参する。点呼時に不在の学生については自宅に電話し所在を確かめている。試験期間前1週間は寮務委員の教員が巡回指導も行っている(資料7-2-③-4)。自習室、談話室などの施設も設置されている(資料7-2-③-5)。

(分析結果とその根拠理由)

学生寮の施設の整備状況は、男子寮、女子寮とも入寮希望者が多く充足率の高い状態で運営されている。

自習室、談話室等があり学生の生活勉学の施設面での支援もなされている。また、成績不振者に対する勉学指導も行われている。

以上のことから、学生寮は生活及び勉学の間として有効に機能している。

資料7-2-③-1

学生寮の設置状況、入寮状況

・男子寮

A寮(低学年用)	面積	1,341 m ²	定員	99名	在寮者	88名
C寮(高学年用)	面積	1,267 m ²	定員	74名	在寮者	70名

・女子寮

B寮	面積	866m ²	定員	32名	在寮者	30名
----	----	-------------------	----	-----	-----	-----

(出典 学生課資料 平成23年5月1日現在)

学寮で必要な経費

明石高専 潮寮

- [トップページ](#)
 - [潮寮について](#)
 - [寮務主事あいさつ](#)
 - [概要](#)
 - [在寮者数\(PDF\)](#)
 - [女子寮施設案内](#)
 - [経費](#)
 - [入寮に関する規則と現況\(PDF\)](#)
 - [潮寮での生活](#)
 - [寮生からのメッセージ](#)
 - [卒業生からのメッセージ](#)
 - [年間行事アルバム](#)
 - [日課表](#)
 - [食事メニュー](#)
- [明石高専トップページ](#)

潮寮で必要な経費 (平成22年度)

男子寮

- ・寄宿料(月額) 700円
 - ・光熱水料(月額) 7,000円
 - ・食費(月額) 約 29,100円
 - ・合計 約 36,800円
- ※入寮時のみ入寮費3,000円が別途必要になります。

女子寮

- ・寄宿料(月額) 800円
 - ・光熱水料(月額) 9,000円
 - ・食費(月額) 約 29,100円
 - ・合計 約 38,900円
- ※入寮時のみ入寮費3,000円が別途必要になります。

(出典 本校ホームページ <http://www.akashi.ac.jp/contents/Gakusei/Ryou/>)

学寮の日課

潮寮での日課

区分	男子寮	女子寮
起床	7:50	
朝食時間	7:50~8:50 (休日 7:50~9:30)	
授業	9:00~12:10	
昼食時間	11:50~12:50 (休日 11:50~ 13:10)	
授業	13:00~16:10	
夕食	18:00~19:00 (食堂終了時間 19:30)	
入浴	17:30~21:00	19:00~22:00
門限・点呼	22:00 (休日とその前日は23:00)	22:00
消灯	24:00	

※但し、定期試験期間等、教育上の事由により一時的に変更することがある

(出典 本校ホームページ 学生寮)

資料7-2-③-4

学寮の学習指導

22年度 前期中間試験に関する学習指導

4. 学習指導について

寮務主事より、今年度も前期中間試験（6月1日～6月9日）前の1週間にA、B寮の1～2年生を対象に学習指導する旨説明があった。巡回は毎日21時から行うこととし、担当教員の割り振りは次のとおりとする。

5月25日（火）宮本、5月26日（水）鍋島、5月27日（木）面田、
5月28日（金）史、5月31日（月）森下 以上5日間

（出典 平成22年5月11日 学寮委員会 議事録）

資料7-2-③-5

学生寮内の自習室、談話室

・自習室

男子用自習室（1室） 面積 77 m²

机・椅子・デスクスタンド（各20名分）、空調機・有料コピー機有
飲食物の持ち込みは、禁止。

利用時間は、特別な場合（進学試験等の勉強）を除き、起床時間から
自習時間終了まで。

女子用自習室（1室） 面積 24 m²

テーブル（4名用）2台、椅子 8脚、空調有
利用については、男子と同様。

・談話室

A寮談話室（2室 計30 m²）テレビ・DVD各1台

B寮談話室（和室1室 計36 m²）

座卓（4名用）8台、テレビ、DVD、冷蔵庫各1台、空調・キッチン設備有

C寮談話室（1室、36 m²）、テレビ・DVD各1台、空調有

利用時間は、起床時間から就寝時間までの間。

（出典 学生課資料）

観点7-2-④： 就職や進学等の進路指導を行う体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

本校における進路指導の体制は、学校、学科、進路指導委員会の3つの取組みに分けることができる。学校としての取組体制は、進路指導ガイダンスの徹底と、進路関係書類の処理である。

ガイダンスの徹底として、「学生生活のてびき」(資料7-2-④-1)により、入学時から就職と進学を検討し始めることができるようにしている。さらに「担任マニュアル」(資料7-2-④-2)により、1・2年生におけるロングホームルームを利用し、副担任(専門学科教員)がガイダンスを実施するよう推進している。

実施計画は進路指導委員会の「進路指導計画」(資料7-2-④-3)で確認できる。担任マニュアルでは、4・5年生における進路指導の指針も示している(資料7-2-④-4)。

大学及び大学院からの募集要項等は学生課で整理し、各学科に提供するとともに学生の閲覧に供している(資料7-2-④-5)。ホームページ等では進路先一覧(資料7-2-④-6)を掲載し、保護者にも情報を提供している。本校ホームページで就職担当教員を紹介(資料7-2-④-7)し、企業等からの連絡を容易にしている。

学科としての取組みは、低学年へのガイダンスの実施と進路情報の蓄積・提供である。

ガイダンスは専門の中での各分野が紹介できるようHRを活用し、複数の教員で実施している。進路指導計画に基づき講師を招き、実務内容も聞けるようにもしている。

建築学科では卒業生の仕事を紹介するパネルを廊下に展示している(資料7-2-④-8)。進路に関する情報提供の場として、各学科で進路説明会も開催している(資料7-2-④-9)。

(分析結果とその根拠理由)

進路指導計画に基づき、低学年時からロングホームルーム等で進路に関するガイダンスを実施している。学生は進路資料室等の資料を閲覧することで試験の情報も随時得ることができる。

保護者にも説明会等を通じて、緊密に連携を図っている。進路の決定に際しては、進路担当教員による学生とのきめ細かな面談が実施されている。

以上のことから、就職や進学等の進路指導を行う体制が整備され機能している。

「学生生活のてびき」における進路のガイダンス

13. 進路

<前文略>

(1) 進 学

1. 専攻科進学

本校の学科では5年間の一貫教育で実践力に優れた技術者を育てています。卒業後さらに学科と整合性の高い2年間の勉学と研究を通じて、大学学部とはひと味異なった実践力に優れた創造的技術者を養成するために専攻科があります。専攻科修了生は、一定の要件を満たせば、大学評価・学位授与機構から学士（工学）の学位を取得することができます。

専攻科の入学定員は、機械・電子システム工学専攻8名、建築・都市システム工学専攻8名の計16名で、推薦及び学力により選抜します。

学科卒業生は、本校だけでなく、他の高専に設置された専攻科にも進学できます。

2. 大学編入学

卒業後の進学先としては、大学3年次編入学を選ぶことも出来ます。現在100余の国公立大学が高専卒業生を3年次（一部2年次）に受け入れるための編入学試験を行っています。

編入学試験の英語に対してTOEIC公開テストやTOEFLの結果を利用することが多くなっています。また、受験資格になっているところもありますので注意してください。

試験の時期は大学によって非常に異なりますので、興味のある学生は、学生課に相談してください。学校に送付のあった過去問題については、貸し出しも行っています。

3. 大学院入学

専攻科を修了すると国公立大学院への進学ができます。試験等の時期は各大学によって異なります。また、大学院の入学試験で英語に対してTOEIC公開テストやTOEFLの結果を利用することが多くなっています。また、受験資格になっているところもありますので注意してください。大学院の進学を希望する学生は、専攻科の1年のときにTOEIC公開テスト等を必ず受けておいてください。

各大学の入学試験の詳細については、学生課に相談してください。

(2) 就 職

本校への求人倍率は、近年の不況期にあっても常に10倍を超えています。卒業生に対する社会的評価は高く、一流企業をはじめ特色ある各種企業、官公庁などでも多く活躍しています。このような恵まれた状況を維持するためにも、日頃から勉学に励み、社会の求める実力をつけることが必要です。就職希望者は、できる限り早い時期から希望する産業分野や企業に関する情報を収集し、企業の経営分析などを進めてください。

(3) 大学編入学出願票・大学院入学出願票・求職票

大学編入学試験、大学院入学試験や就職試験を受ける際には、それぞれ大学編入学出願票・大学院入学出願票・求職票を事前に学生課に提出してください。

(出典 平成23年度 学生生活のてびき P.55, 56)

資料7-2-④-2

副担任（専門学科教員）のガイダンス

1-1.	基本的業務	
	副担任の役割	○ 担任は副担任と協力し合い、学生のための指導を行う。副担任はおおよそ次のような役割を担う。 (1) 専門教育の特殊性、学生の専門的適性、将来の進路、等々について正担任及び学生のよき相談相手となる。
	専門学科との連絡	○ 1～2年生の担任については、学科の教育方針等について、副担任と積極的に意見交換をはかる。
1-2.	学級運営の計画	
	ロングホームルーム(LHR)運営	○ 副担任のLHR分担については、正副担任でよく話し合っで計画をたてる必要があるが、専門導入教育等年間1/5～1/3(5～9回)程度の担当を標準とする。 【参考テーマ】・・・，就職進学等進路関係，・・・，専門分野の話題や動向，卒業後の進路，

(出典 担任マニュアル)

進路指導計画

平成23年度 進路指導計画(案)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生
目標	専門分野に対して広い視野を持つ	専門分野に対して広い視野を持つ	進路に対する意識を高める	進路の意志決定	進路を決定
全体		キャリア記録シート記入	キャリア記録シート記入	キャリア記録シート記入 進路希望調査	キャリア記録シート記入
	(4/21-22)新入生合宿研修(学科別ミーティング)進路に関するオリエンテーション		(6/16-17)3年生合宿研修	(6/25-7/3)保護者懇談会 (8-9月)インターンシップ	(5月)大学編入学出願開始 (7/1~)就職校長推薦書 (10/1~)就職内定
	(6/25-7/3)保護者懇談会	(6/25-7/3)保護者懇談会	(6/25-7/3)保護者懇談会	(2-3月)保護者対象進路説明会・懇談会	(1月)卒業オリエンテーション
	(後期)キャリア支援・アントレプレナーセミナー 「わからあい、支えあい、共存していく社会」神戸ホスピタリティマインドクラブ代表 清田佳代氏	(7/13)キャリア支援・アントレプレナーセミナー ①「自分の強みに目を向けて不況に負けない魅力発信へまちづくりから観光プランまでアイデア満載」近畿タクシー社長 森崎清登氏 または ②「発想力、想像力養成講座」アトリエカプリス代表 岩田直樹氏	(7/6)キャリア支援・アントレプレナーセミナー 「学校では教えてくれない豊かさの裏側」田中 優氏	(7/20)キャリア支援・アントレプレナーセミナー 「働くとは何か？」(株)アーサ 朝尾氏 (後期)就職活動の進め方・面接等講座(視聴覚教材利用) (10月)キャリア支援・アントレプレナー特別講演 「成功者と成幸者」コミュニケーション・テクノロジー研究所 上村光弼氏 於 西部市民会館 専攻科生も対象	
機械工学科					(4-5月)学生の進路相談
電気情報工学科			(12月)コース希望調査 (1月)コース決定	(10月)資料配付(スケジュール・心構え)	(4月)学生との面談(面接練習含む)・保護者との面談・編入学試験過去問電子化
都市システム工学科			(7月)キャリアガイダンス(職業情報研究)	(12月)公務員・民間企業説明会 (1月)卒業生による進路指導・相談会 (2月)保護者との面談 (3月~)公務員試験模試	(~6月)公務員試験模試 (4-5月)学生の進路相談
建築学科	(5月)上級生との交流 (7月・11月)卒業生による講話	(5月)建築士指定科目セミナー	(2月)ミニSR企画、模擬集団討論会	(5月)資格セミナー (10月)SR企画 (12月)就職セミナー (1月)文章力向上対策講座 (2月)グループディスカッション訓練・エントリーシート作成指導 (3月)1回目就職活動終了	(4月)学生との進路相談と面談 (5月)模擬個別面談、模擬集団討論 (8月)模擬集団討論(公務員試験対策)

(出典 平成22年3月 教員会 配付資料)

資料7-2-④-4

4・5年生における進路指導（抜粋）

3-4.	進路指導	
	進路決定の指導	○就職・進学に関する十分な情報を与え、学生の相談に応じ、学習意欲が高まるよう指導する。
	就職指導	○職業選択に関して適切なアドバイスができるよう、個人懇談等を通して、学生の個性や学力の程度を十分に把握する。
		○就職活動が年々早くなっている現状を踏まえ、求人情報・採用状況等についても学生に促し、多くの情報を得るよう指導、準備させる。「求職票」は原則として、締切の1週間前までに学生課へ提出させる。
		○入社試験の際には、志望の動機・礼儀・言葉使い等万全を期して望むよう指導する。礼儀・言葉使い等は、普段から留意しなければ身に付かないことを指導する。
	進学指導	○専攻科進学、大学編入希望学生に対しては、基礎学力のみならず専門の学力向上について、その必要性を強調する。
		○専攻科進学、大学編入希望学生の学力を十分に把握し、進学後の授業・実験等に対応できる能力を身につけるよう指導する。「高専専攻科出願票」及び「大学編入学出願票」は原則として、出願受付開始日の1週間前までに学生課へ提出させる。

(出典 担任マニュアル)

資料7-2-④-5

図書館入口前の進路情報閲覧コーナー（左）と機械工学科進路資料室（右）



(出典 進路指導室写真)

平成22年度 修了・卒業生 進路先

平成22年度卒業生・修了生 進学先・就職先一覧

進学先一覧(学科)

進学先名	機械	電気	都市	建築	計
明石高専専攻科	10	6	7	7	30
北海道大学			1	1	2
東北大学	1				1
筑波大学		2			2
千葉大学				3	3
東京大学	4	2			6
東京農工大学		1			1
東京工業大学	1				1
東京海洋大学		1			1
横浜国立大学	1		1		2
長岡技術科学大学			1		1
山梨大学		1			1
信州大学				1	1
岐阜大学	1		1		2
静岡大学	1	1			2
豊橋技術科学大学		5	3	3	11
三重大学				2	2
京都大学		1	1		2
大阪大学	5	9	1		15
神戸大学	6	2	4	2	14
奈良女子大学				1	1
和歌山大学			1		1
岡山大学		3			3
広島大学	1		1	1	3
徳島大学			3		3
九州大学			2	2	4
九州工業大学		1			1
首都大学東京			1		1
高知工科大学				1	1
東京理科大学			1		1
合計	31	35	29	24	119

進学先一覧(専攻科)

進学先名	機械・電子システム	建築・都市システム	計
東北大学大学院	1		1
東京工業大学大学院	1		1
京都大学大学院	3	2	5
神戸大学大学院		4	4
奈良女子大学大学院		1	1
九州大学大学院	1		1
九州工業大学大学院	1		1
合計	7	7	14

就職先一覧(専攻科)

会社名	機械・電子システム	建築・都市システム	計
IMV(株)	1		1
NTTコムウェア西日本(株)	1		1
(株)NTTネオメイト	1	1	2
(株)神戸製鋼所	1		1
シスメックス(株)	1		1
(株)西島製作所	1		1
(株)ノーリツ	1		1
カワムラサイクル(株)	1		1
マツダ(株)	1		1
(株)CTIウイング		1	1
(株)TAK-QS		1	1
(株)環境総合テクノス		1	1
(株)ニュージェック		1	1
川田工業(株)		1	1
合計	9	6	15

就職先一覧(学科)

会社名	機械	電気	都市	建築	計
オムロンフィールドエンジニアリング(株)ノーリツ	1				1
コベルコクレーン(株)	1				1
住金プラント(株)	1				1
パナソニック(株)AVCネットワークス	1	1			2
三菱重工業(株)原動機事業本部高	1				1
三菱重工業(株)神戸造船所	1				1
(株)NTTファシリティーズ		1		1	2
関西電力(株)		1		1	2
武田薬品(株)		1			1
三菱電機(株)神戸製作所		1			1
(株)エース			1		1
(株)NTTネオメイト			1		1
(株)大阪防水建設社			1		1
(株)広業			1		1
(株)NIPPO			1		1
(株)山本設計			1		1
佐藤工業(株)			1		1
大鉄工業(株)			1		1
阪急電鉄(株)			1	1	2
ヤクルト(株)			1		1
大阪ガス(株)				1	1
(株)大林組				1	1
関西建設工業(株)				1	1
東海旅客鉄道(株)				1	1
三菱地所藤和コミュニティ(株)				1	1
尼崎市				1	1
兵庫教育大学				1	1
合計	7	5	10	10	32

(出典 本校ホームページ)

資料7-2-④-7

就職担当教員の紹介

企業 求人担当者様へのご案内

平成23年度末卒業・修了予定者に対する各学科・専攻の就職担当者は以下のとおりです。
就職に係るお問い合わせ、面談の予約等にご利用ください。

平成23年度就職担当教員

学 科・専攻科	就職担当・E-mail	電話番号（FAX）
学 科：機械工学科 専攻科：機械・電子システム工学専攻（機械系）	関森 大介 准教授	078-946-6197（6214）
学 科：電気情報工学科 専攻科：機械・電子システム工学専攻（電気情報系）	太向 雅人 教授	078-946-6124（6138）
学 科：都市システム工学科 専攻科：建築・都市システム工学専攻（都市系）	石丸 和宏 准教授	078-946-6141（6184）
学 科：建築学科 専攻科：建築・都市システム工学専攻（建築系）	平石 年弘 准教授 （4月から変更しました）	078-946-6228（6235）
その他 求人票に関するお問い合わせ	学生課学生係	078-946-6046（6053）

（出典 本校ホームページ）

<http://www.akashi.ac.jp/contents/Gakusei/Gakusei/shushoku.html> ）

資料7-2-④-8

卒業生の仕事ぶりを紹介するパネル（建築学科）



（出典 卒業生紹介パネル写真）

(資料7-2-④-9)

進路説明会の案内

平成22年12月21日

4年建築学科学生保護者 各位

4A 担任 荘所直哉

建築学科4年保護者懇談会(進路説明会)の開催について

時下益々清祥のこととお慶び申し上げます。いつも明石高専の教育にご協力を頂き、誠に有難うございます。

さて、ご息が高専に入学され3年半以上が経過し、平成23年4月より最終学年を迎えられます。5年生は学業以外に、高専卒業後の進路を考えなければなりません。卒業後、大学への編入、専攻科への進学、建設会社等への就職の3つの選択が考えられます。

そこで、建築学科では、毎年、4年生の保護者を対象にした進路説明会を1月に実施しております。今年度も平成23年1月に実施したいと考えておりますので、大変お忙しいとは存じますが、ご出席の程、よろしくお願い申し上げます。

保護者対象の進路説明会の実施

日時：平成23年1月16日(日) 13:00～

会場：明石高専建築学科棟1階マルチメディア室(当日、学生玄関から誘導案内は掲示致します)

内容： 13:00～13:05 挨拶、出席者紹介

13:05～13:35 進路指導に関する全般的な説明

13:35～13:55 見学旅行に関する説明

14:00～ 個別懇談(希望される保護者のみ)

(出典 建築学科 保護者対象進路説明会開催案内)

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

- ・ 学生支援に関係する情報を多様な手段により提供している。
- ・ 図書館、情報センターで、時間外サービスを実施している。
- ・ 指紋認証システムにより、時間外及び休日に施設や設備の利用ができる。
- ・ 各教員が週2回のオフィスアワーを実施し、各種の支援を実施している。
- ・ 意見箱、授業アンケートにより、学生のニーズが捉えられている。
- ・ 留学生に対して、特別カリキュラムが実施されている。
- ・ TOEICに関し、受験費用を一部援助してIPテストを実施し、自習環境も備えている。

(改善を要する点)

該当なし。

(3) 基準7の自己評価の概要

教育への導入段階に十分な情報交流ができるように努め、ガイダンスは整った冊子とオリエンテーションにより適切に実施されており、学生の自主的学習に対してもオフィスアワーや担任による相談・助言の体制が整っている。自主的学習環境においては、図書館、情報センター、実習工場、

各学科の実験室、演習室が整備されており、その他の施設や設備も含めて時間外利用が可能である。

また生活環境として、学生食堂を活用した自習室等の複数のコミュニケーションスペースが整備されている。学習支援に関する学生のニーズは、意見箱、授業アンケート、オフィスアワー等の多様な手段により把握する体制が整えられている。資格試験や検定試験の受験のためには、TOEICと危険物取扱資格において手厚い支援体制が取られている。また、資格単位の設定もある。外国留学関係では、海外の大学での語学研修、インターンシップが実施されている。

本校への留学生に対しては、教員及びチューターによる学習支援体制が組み立てられており、また編入学生に対しても担任及び教科担当教員が個別に指導し支援している。

課外活動は、全教員が分担して指導しており、近畿地区高専体育大会等で成果を上げている。学生会の活動には学生委員が分担して指導に当たっており、学生会主催の学校行事等を支援している。

学生の生活には、学級担任・学生委員・学生相談室員等が、整備された体制の下で指導・相談・助言に当たっている。学生の経済面についても、学級担任・学生課職員・学生委員が連携して支援している。留学生に対しては、学寮委員・学生課職員・担任・チューター・ホストファミリーなど多面的に支援するとともに、寮において留学生に配慮した設備を設置している。障害を持つ学生のために、施設・設備が整備されており、心臓の障害に備えた機器も保有している。

学生寮は、希望者全員が入寮できる定員数を備えた男子寮・女子寮があり、談話室・自習室も有していて、生活及び勉学の間として整備された寮になっている。

進路指導においては、進路指導委員会により年間の進路指導計画が策定されている。低学年では専門学科教員によるロングホームルームを利用したガイダンス等が実施され、高学年では担任・学科長等の進路担当教員により本人の適性を充分考慮したきめ細かな進路指導が行われている。

